ソリック電子ドア　取扱説明書
ＮＢ３ベース　７０mm見込サッシ内蔵 （見込７０mm×見付１５０mmサッシ）
ＮＢ０６Ｔ０６Ｋ Ｌ／Ｒ／Ｄ　（ＤＣブラシレスモーター） ＮＢ０９Ｔ１５Ｋ Ｌ／Ｒ／Ｄ　（ＤＣブラシレスモーター）

モーター：ＳＨ－０６Ｔ用コントロールボックスHM－０６Ｋ及び
ＳＨ－０９Ｔ用コントロールボックスHM－１５Ｋの取扱説明書は、
それぞれ別冊編集しておりますので必要の際はご連絡ください。



株式会社 ソリック

ＳＯＬＩＣ　ＣＯ．，ＬＴＤ．

作成'07.10.1改1

目　　　　　　次

１．はじめに

ソリック電子ドア『７０mm見込サッシ内蔵式・ＮＢ３タイプ』は、超薄型設計が実現したことにより、現在サッシメーカー各社様が標準化されている軽量ドア用７０mm見込サッシに内蔵可能となりました。

また、トステム（株）様にご指定をいただくなど、屋内通路の自動化やパーテーションシステムにも内蔵可能となり、よりいっそう自動化への対応が広がりました。

機構面では、取付けされる方の安全性と作業効率を最優先に改良を行いました。例えば、ベース上の各部品類は、機構取り付け溝に組み込みするフリースライド方式を採用することにより、ベースの切り縮めや部品の移動が生じた場合、各部品はナットやビスをゆるめるだけで、自由に移動できるようにしたことやタイミングベルトの切り縮めの際には、ワンタッチでベルトの抜き差しが可能な金具方式に改善したことにより、高所での安全性をが高くなりました。

駆動部は、高トルクで応答性・静粛性に優れた高性能ＤＣブラシレスモーターを搭載しておりますので、スピーディな動作はもちろんのこと、頻繁な動作にも連続開閉が可能です。

さらに独自のマイクロコンピーター制御により、ドアストロークやドア重量、開閉速度に応じて、ブレーキ位置とブレーキ力をマイコンが常に制御しておりますので、リードスイッチやリミットスイッチでブレーキ位置を調整する必要がなくなりまた。

２．特　長

１．薄型ＤＣブラシレスモーター採用
高性能で静粛性に優れた超薄型ＤＣブラシレスモーターの採用で、微速時や戸当り時のモーター音が格段に小さく、スムーズな開閉機能を発揮します。モーターはブラシレスモーターのため、面倒なブラシ交換が不要です。

２．フリースライド方式の採用
ベースの形状はフリースライド方式を採用し、取り付け先でベースの切り縮めや部品の移動が生じた場合でも、簡単に移動・固定ができます。

３．ブレーキ自動設定
ドアストロークやドア重量、開閉速度に応じて、ブレーキ位置とブレーキ力をマイコンが常に制御していますので、リードスイッチやリミットスイッチなどでブレーキ位置を調整する必要がなくなり、取り付け・調整時間が短くなりました。

４．連続開閉可能
新技術投入による高性能・小型ＤＣブラシレスモーターにより、開閉速度や反動動作がスピーディで、軽快な通行が得られ頻繁な動作にも連続開閉が可能です。

５．信頼のメカ機構
ハンガーローラーなどの消耗部品は、他のスライドドア用の部品を供用しておりますので、アフターサービスに対する部品確保も即時対応が可能です。

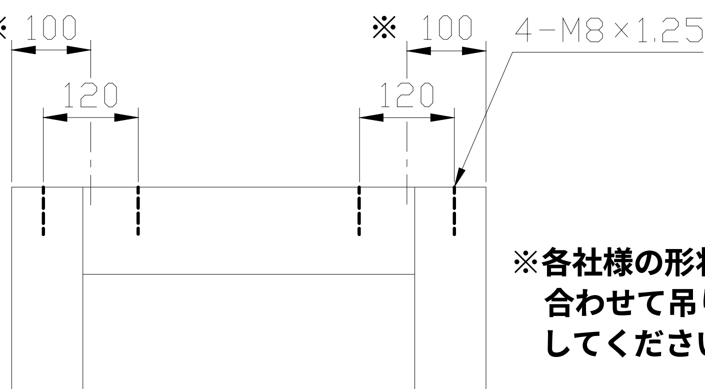
６．ドアの均等吊り元・ダブルローラーの採用
吊り元は、ドア端から１００mm芯・振り分け６０mm（タップピッチ１２０ミリ・M8×１．２５）です。ローラーはモーターの下まで引き込みが可能で、軽量ドアでも動作が安定しております。

７．既設エンジン装置との入れ替えについて
弊社の前期モデルであるＮＢタイプとの入れ替えにつきましても、コーナーピース式の取り付けと同じ要領で簡単に対応が可能です。（ベースや背板、連結金具の互換性はありませんのでご注意ください。）

8.　ナブコ様、寺岡様との互換性考慮
サイドフタの取り付け穴ピッチは、ナブコ様、寺岡様７０mm見込エンジン装置のいずれにも互換性をもたせておりますので、既設の裏板を利用してそのまま交換が可能です。

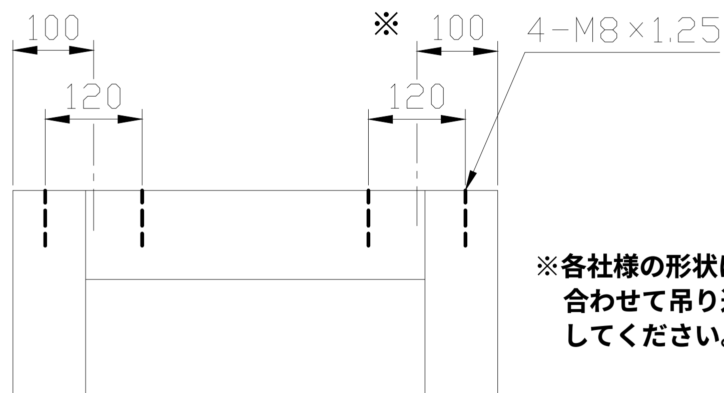
9.　ＳＫ－３１・ドアサイドビーム（補助光線スイッチ）内蔵可能
ご指定いただければ弊社で組み込み・結線して出荷しますので、取り付け先での作業が簡単です。

３．仕　様―１ SH－０６TC・KC、HM－０６Kタイプ　マイクロコンピューター制御

電　源	ＡＣ１００Ｖ　±１０％　３Ａ　５０／６０Hz
対応機種	内蔵式　ＮＢ３ベース
対応可能 サッシ メーカー様 無目材規格	トステム（株）様・ＧＩＥ３６、三協アルミニウム様・ＤＡ－０９８Ｎ 立山アルミニウム工業（株）様・ＣＹ-６１１、新日軽様・ＳＦＮ－１７５４ 昭和アルミ（株）様・ＦＣＥ－３６１、YKKap（株）様・Ｋ－９７９８３ 日本アルミニウミ建材（株）・NF－３３４４ なお、同社様では平成４年に販売を中止されております。
障害物 検出機能	障害物検出ターン（全速区間）、障害検出ストップ（微速区間）漂準機能
開速度	５００mm／秒　固定
閉速度	２３０、３７５mm／秒　２段階切替
微速調整	３５mm／秒　固定
ブレーキ 調整	ドア重量、ドア幅に合わせて自動調整されます。
ホールド タイマー	０～１０秒　無段階調整可能
開口調整機能	１０～１００％　無段階調整可能（オプション・外部取付）
停電時	手動開閉可能　３０Ｎ　（３kgｆ）
消費電力	開閉時：１５Ｗ 停止時：　５Ｗ（ＳＨ－０６ＴＣ　簡易ロック無） １３Ｗ（ＳＨ－０６ＫＣ　簡易ロック付）
連続最大出力	１０Ｗ
絶縁抵抗	ＤＣ５００Ｖ　１００ＭΩ
絶縁耐圧	ＡＣ１０００Ｖ（５０ＨＺ）　１分間
使用環境	０～４０℃　湿度２５～７５％ 結露がないこと
駆動方式	タイミングベルト方式
ドア重量	片引６０ｋｇ以下、引分３５ｋｇ×２以下
最小ドア幅	各機種技術資料ご参照
最大ドアストローク	１０ｍ
簡易ロック	電　源　ＤＣ１７.５Ｖ　０.５A 消費電力　４.５Ｗ ドア阻止力　３５０Ｎ（３５kgｆ）以上
ドア吊り込み 寸法	● 片引：左勝手・右勝手、引分に関係なく下図の寸法となります。 

製品改良のため本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。

仕　様―２　SH－09TC・KC、HM－１５Kタイプ　マイクロコンピューター制御

電　　　源	AC100V　±10%　　3A　　50／60Hz
対応機種	内蔵式　NB3ベース
対応可能 サッシ　メーカー様 無目材規格	トステム（株）様・GIE36、三協アルミニウム様・DA－098N 立山アルミニウム工業（株）様・CY-611、新日軽様・SFN－1754 昭和アルミ（株）様・FCE－361、YKKap（株）様・K－97983 日本アルミニウミ建材(株)・NF－3344　なお、同社様では平成4年に販売を中止されております。
障害物　検出機能	障害物検出ターン（全速区間)、障害検出ストップ（微速区間）漂準機能
開　速　度	500mm／秒　固定
閉速度調整	全速行程は単独無段階調整可能　１００mm／秒～５００mm／秒
微速調整	遅い（３５mm／秒)・速い（６０mm／秒)　　ディプスイッチで選択
ブレーキ　調整	強 片引７０ｋｇ、引分４０ｋｇ×２以下・弱 片引４０ｋｇ以下ディプスイッチで選択
ホールド　タイマー	０～１０秒　無段階調整可能
開口調整機能	オプション　（外部取り付け）無段階調整可能
停　電　時	手動開閉可能　３０N（３Kｇｆ）
消費電力	開閉時：１５W 停止時：１３W（SH－０９KC簡易ロック有） ５W（SH－０９TC簡易ロック無）
連続最大出力	１０W
絶縁抵抗	DC５００V　１０MΩ
絶縁耐圧	AC１０００V（５０Hz）　１分間
使用環境	０～＋４０℃　湿度２５～７５％ 結露がないこと
駆動方式	タイミングベルト方式
ドア重量	片引７０ｋｇ以下、引分４０ｋｇ×２以下
最小ドア幅	各機種技術資料ご参照
最大ドアストローク	１０m
簡易ロック	電　　源　DC17.5V　0.5A 消費電力　4.5W ドア阻止力　３５０N（３５kgｆ）以上
ドア吊り込み 寸法	● 片引：左勝手・右勝手、引分に関係なく下図の寸法となります。 

製品改良のため本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。

４．　主要部品配置図

本図「コーナーピース方式」による部品配置図例です。
（三協アルミ様、立山アルミ様、新日軽、
昭和フロント様、ＹＫＫ様、日本アルミ様）

「裏板方式」・トステム様仕様との違いにつきましては
本文をご参照ください。
ＳＨ-０９ＴＣ.ＫＣとＨＭ-１５組み合わせ例です。

● 片　引(左勝手を示します)

電源スイッチコード
NO.3F-11
NBコーナーピース
CP-NB1
NC電源スイッチ金具セット3
SK-NC3
06-T2プーリーセット
06-LK13T2
ドアサイドビーム
SK-31
(オプション)
NB2連結金具セット
NB2-LK11LT
15K用Aコネクター（標準装備）
TM-2A-SH15K
タイミングベルト
120S8M
NB2用変芯吊車
HR-35H-NB2
コントロールボックス
HM-15K
SP63AZマウントセット
MM-SP63AZ
モーターギヤセット
SH-09TC
ドアストッパーセット
DST-3
NB2サイドフタ(左)
NB2SF-L1

● 引　分

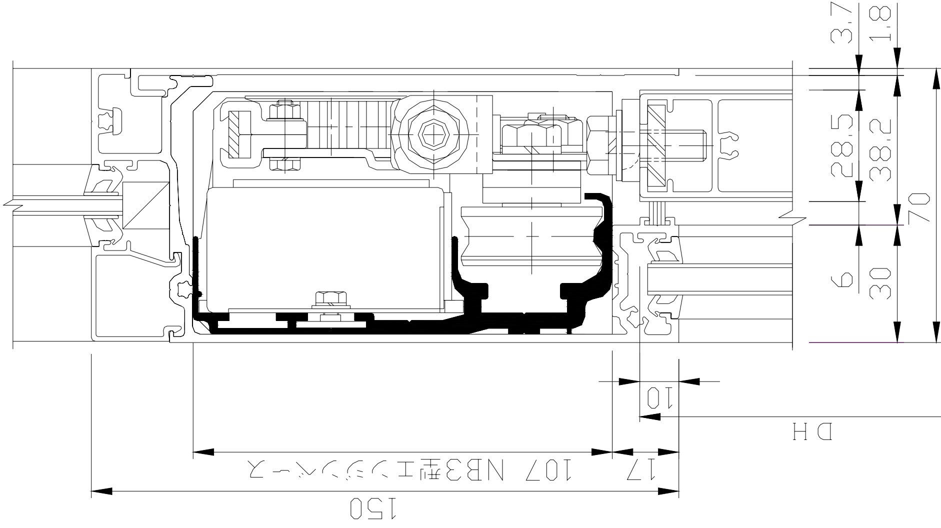
NBコーナーピース
CP-NB1
06-T2プーリーセット
06-LK13T2
タイミングベルト
120S8M
NB2引分連結金具セット
NB2-LK12T
NB電源・カバーブラケットセット3
CBK-NB3
電源スイッチコード
NO.3F-11
ドアサイドビーム
SK-31(オプション)
NB2連結金具セット
NB2-LK11T
１５K用Aコネクター（標準装備）
TM-2A-SH15K
NB2用変芯吊車
HR-35H-NB2
コントロールボックス
HM-15K
SP63AZマウントセット
MM-SP63AZ
ドアストッパーセット
DST-3
モーターギヤセット
SH-09TC
NB2サイドフタ(左)
NB2SF-L1

５． 標準断面図

■トステム(株) 様

無 目 YCRS309

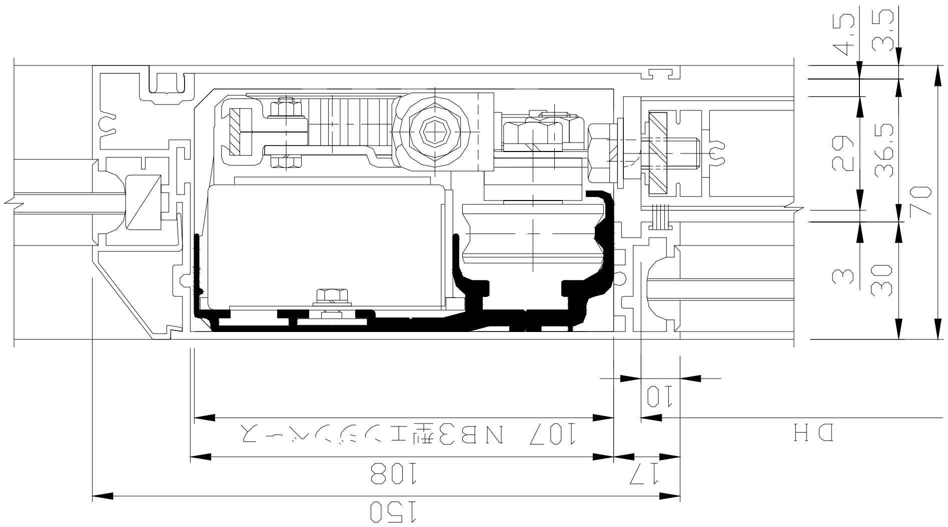
カバー YCRS309



■新日軽(株) 様

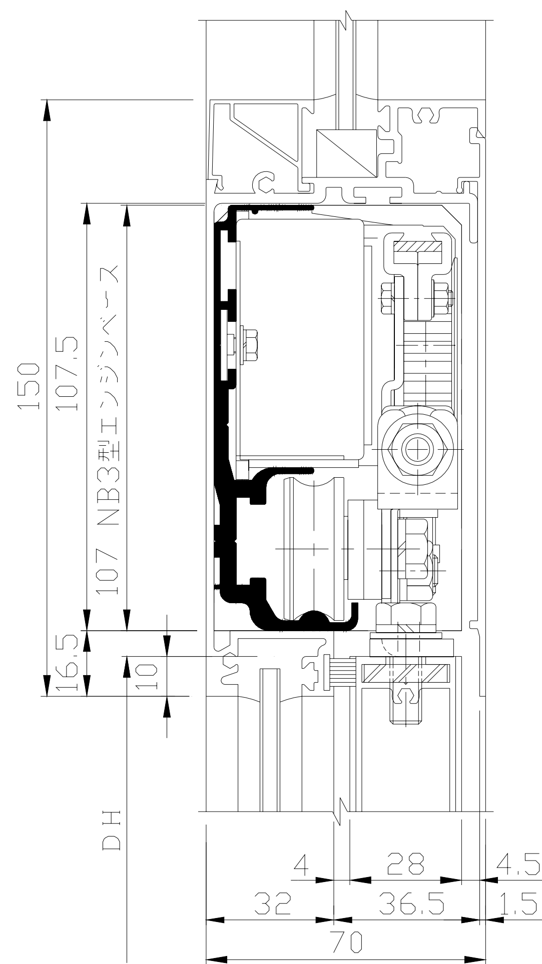
無 目 SFN-1754

カバー SFN-1755



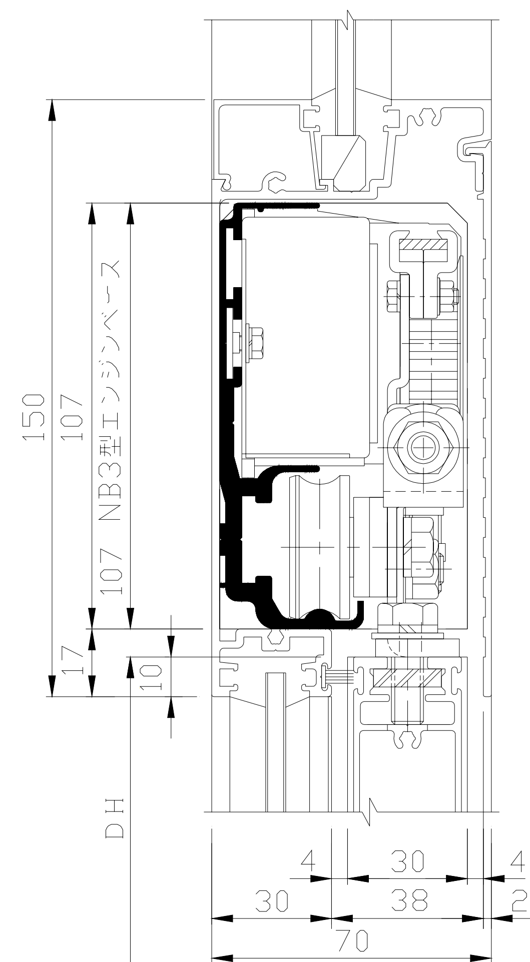
■立山アルミニウム工業(株) 様

無　目　CY－611
カバー　CY－611



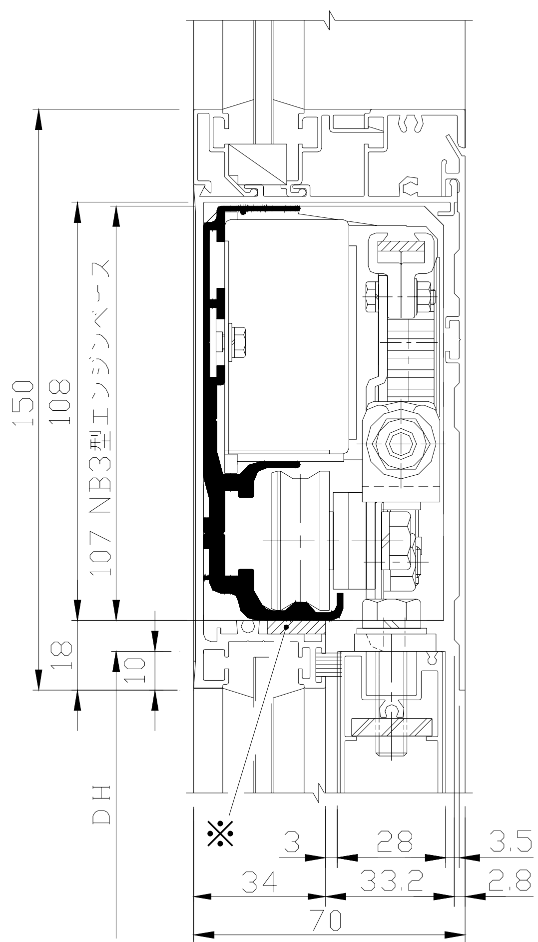
■三協アルミニウム工業(株) 様

無　目　DA 2240
カバー　DA 2241



■ＹＫＫ AP㈱ 様

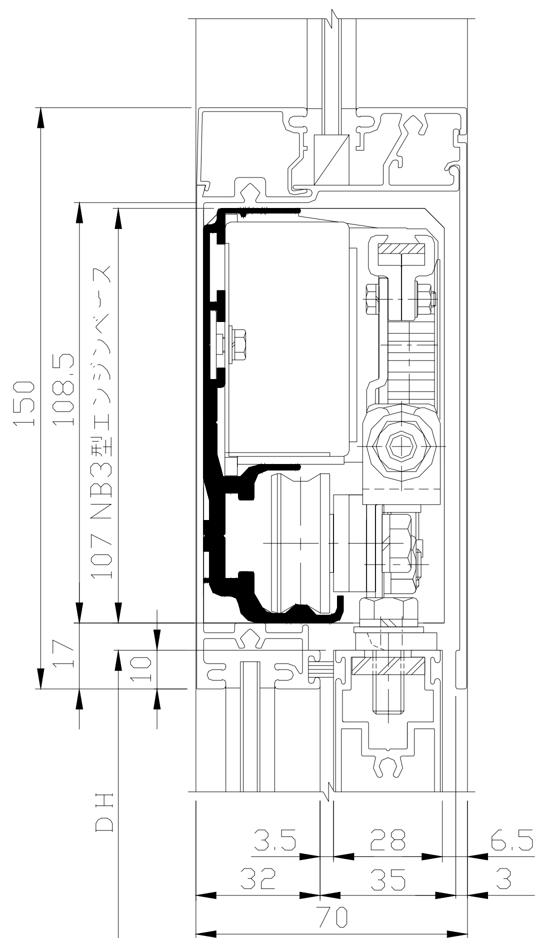
無　目　K－97983
カバー　K－97984



※：ＮＢ２ベーススペーサーが必要です。

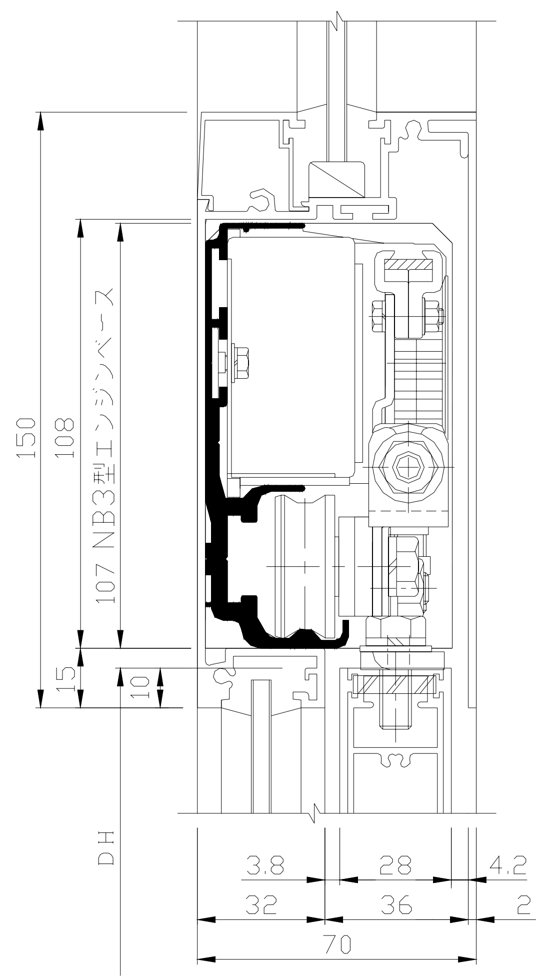
■ 昭和フロント㈱ 様

無　目　FBR－305
カバー　FBE－374



■ ㈱日本アルミ 様

無　目　NF－3344
カバー　NF－3345
（平成４年製造中止）

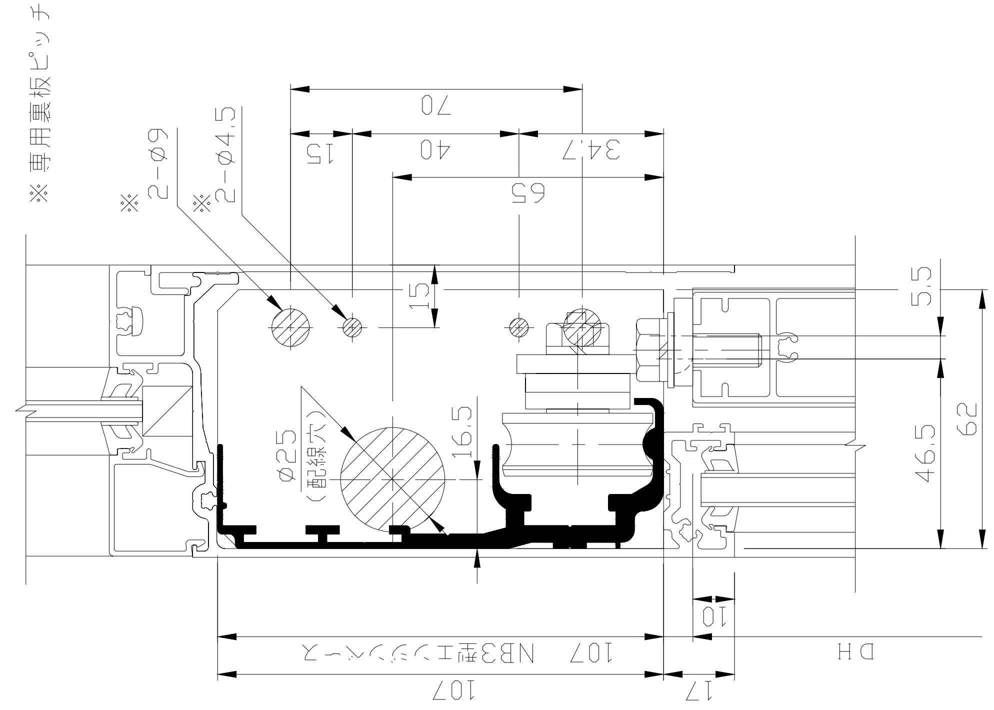


６． 竪枠加工図

弊社のＮＢ用コーナーピースの幅は６２mm です。

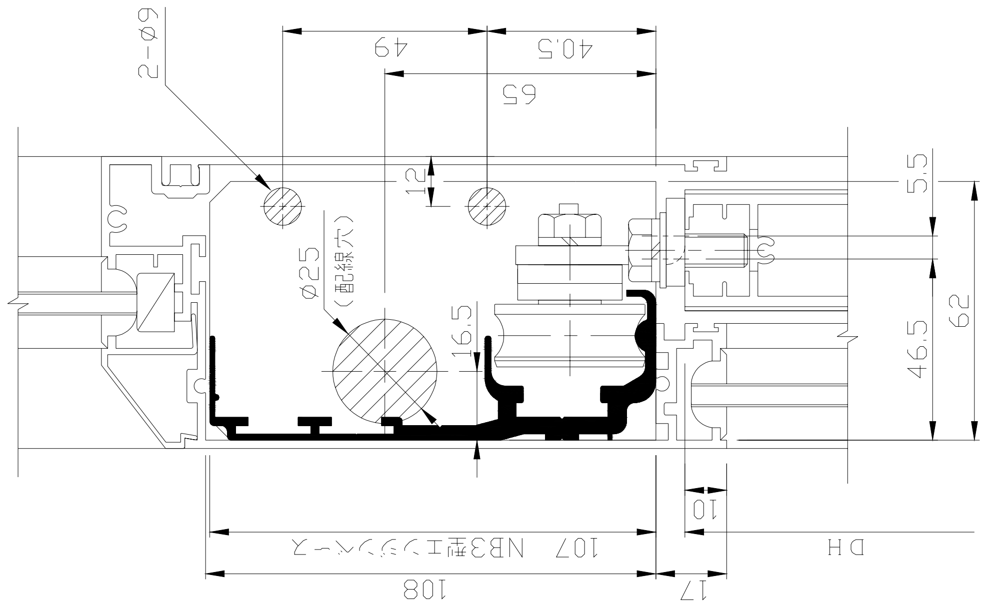
■トステム(株) 様

無　目　ＹＣＲＳ３０９
カバー　ＹＣＲＳ３０９



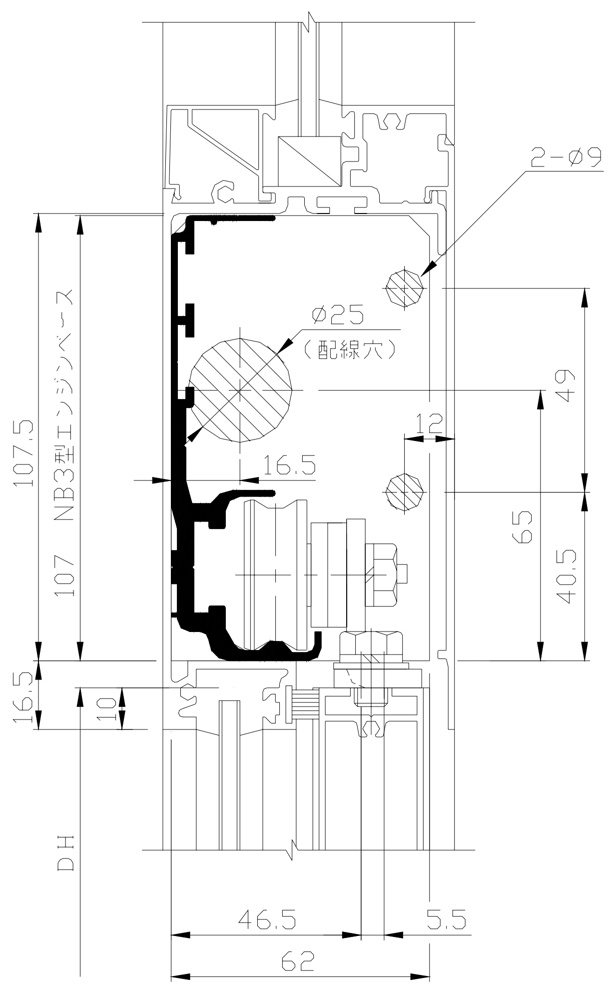
■新日軽(株) 様

無　目　ＳＦＮ－１７５４
カバー　ＳＦＮ－１７５５



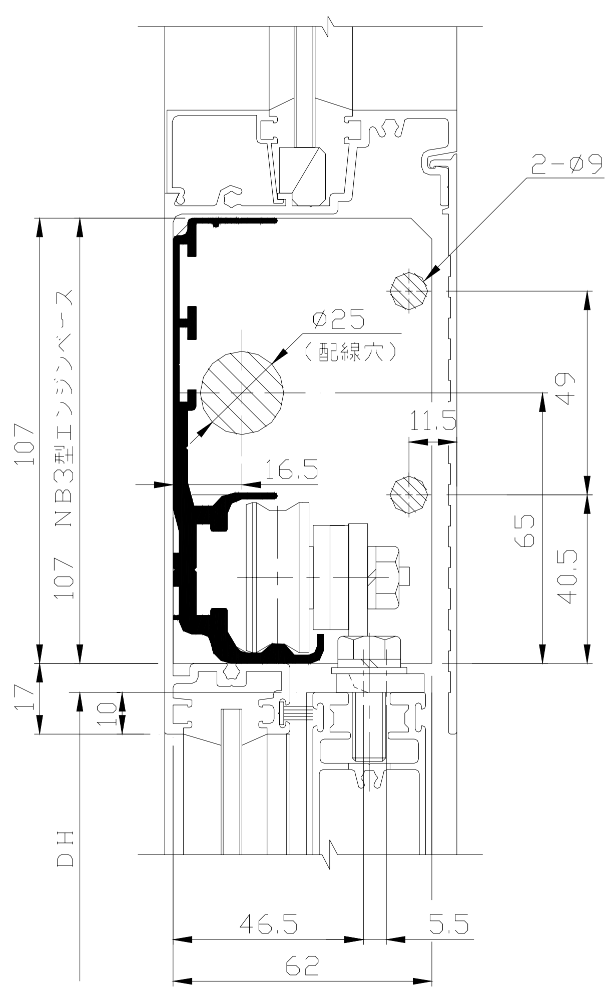
■立山アルミニウム工業㈱ 様

無　目　CY－611
カバー　CY－611



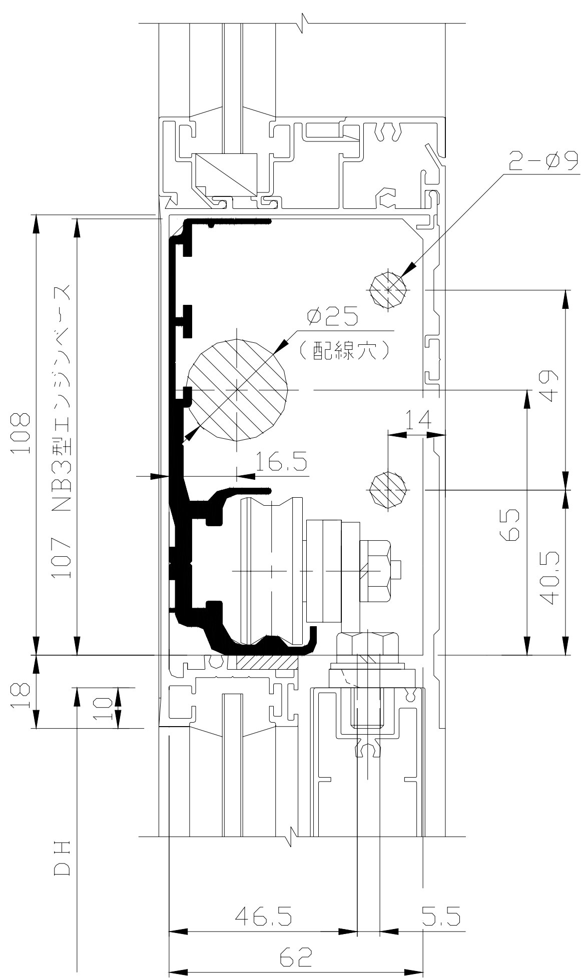
■三協アルミニウム工業㈱ 様

無　目　DA 2240
カバー　DA 2241



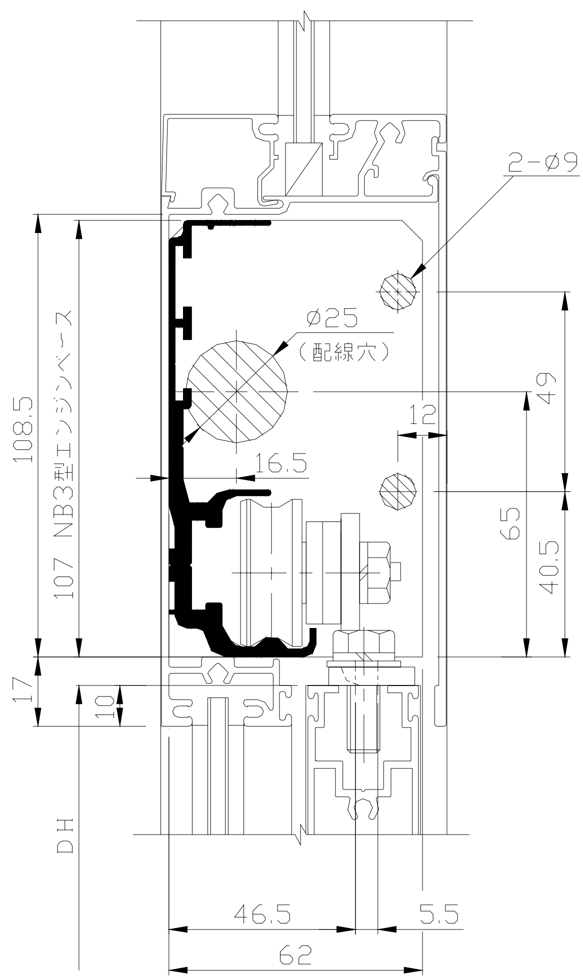
■ＹＫＫ AP㈱ 様

無　目　Ｋ－９７９８３
カバー　Ｋ－９７９８４



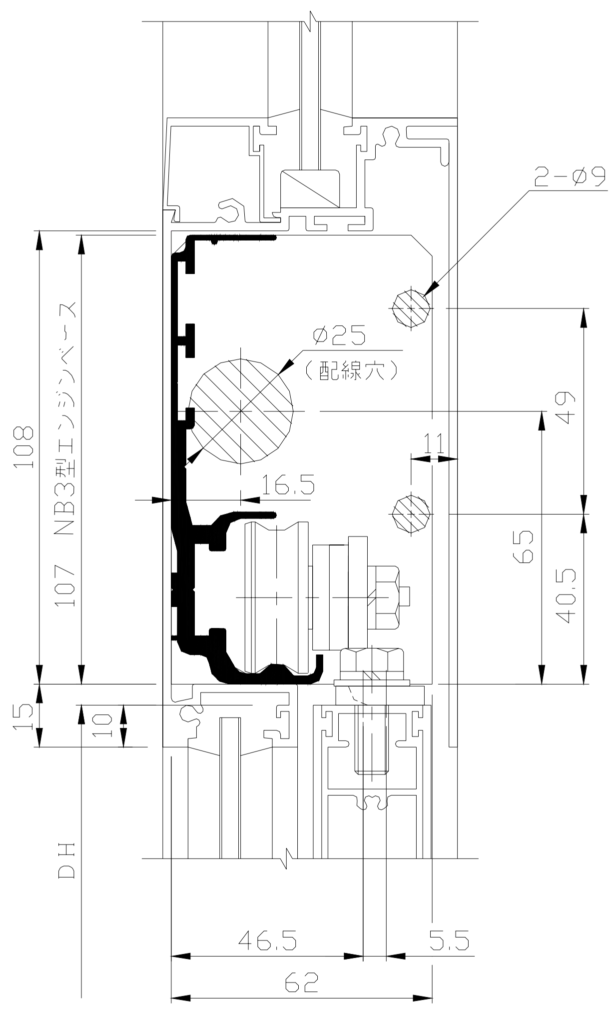
■ 昭和フロント㈱ 様

無　目　ＦＢＲ－３０５
カバー　ＦＢＥ－３７４



■ ㈱日本アルミ 様

無　目　NF－3344
カバー　NF－3345
（平成４年製造中止）



７．装置のご注文について

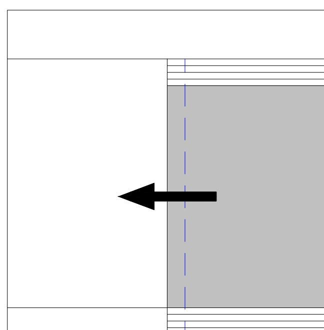
納期は原則として代理店様発注日の翌日発送（休日前受注分は､休日明け発送）です。

１．勝手の区別について

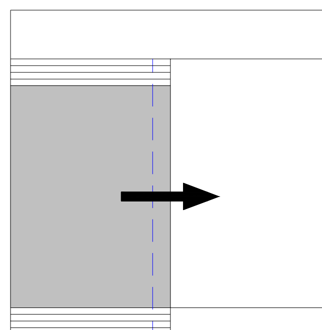
内観姿図　（装置取り付け側から見ます）

●片引

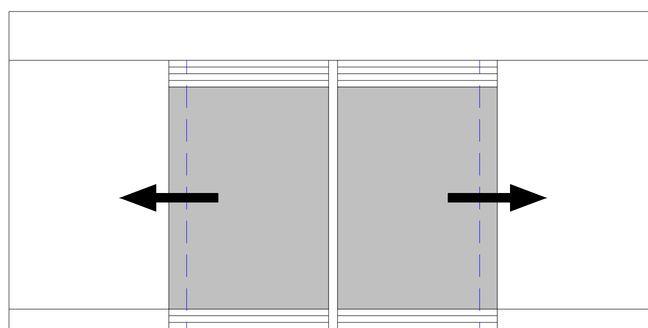
左勝手・L：左にドアが開きます



右勝手・R：右にドアが開きます



●引分・D：左右にドアが開きます



２．形式名について

順序や意味は他の従来機種と同様です。

主要部品の組み合わせ　／　ベース・ドアの寸法

例　NB　０９T　１５K　R　P　　L＝＿＿＿　DW＝＿＿＿

ベース	モーター	コントロール	勝手	コーナーピース	ベース全長	ドア幅
NB	０９T	１５K	R	P	L＝	DW＝

ベース全長：竪枠外々寸法

モーター：
- ０６T
- ０６K
- ０９K

コントロール：
- ０６K

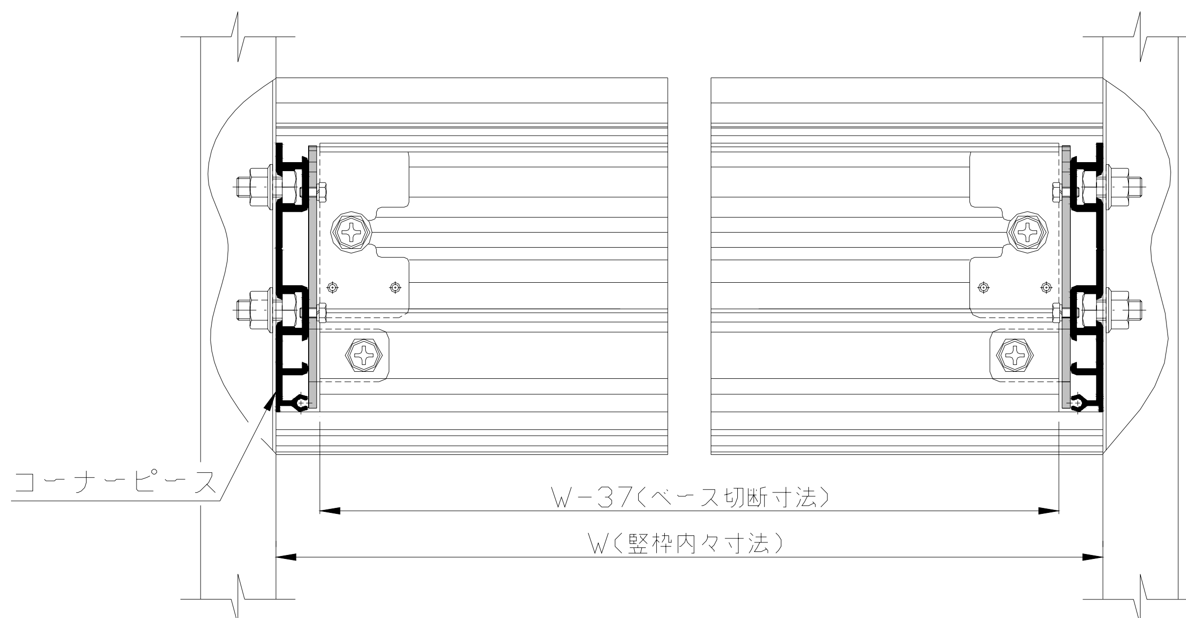
勝手：
- L（左勝手）
- R（右勝手）
- D（引　分）

コーナーピース：
- P（コーナーピース付・サイドフタ付）
- K（コーナーピース無・サイドフタ無）
- 0（コーナーピース無・サイドフタ付）
- T（コーナーピース無　・サイドフタ付）　トステム様仕様

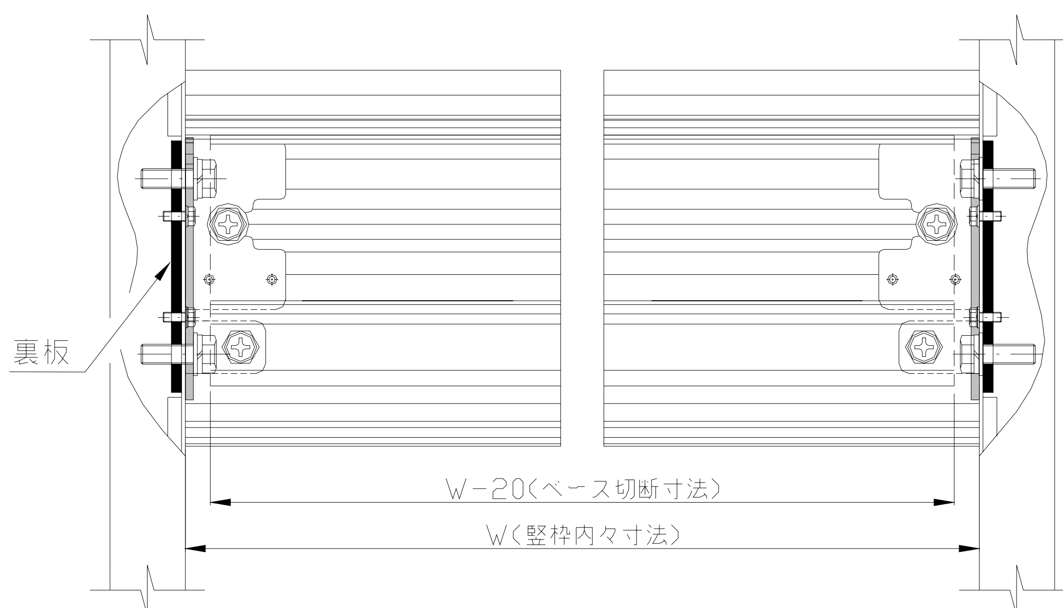
ＹＫＫ様仕様の場合付属部品が追加になります。念のためサッシメーカー様名も必ずご連絡ください。

８．ベースの基本寸法

１．新日軽様、三協アルミ様、立山アルミ様、昭和フロント、ＹＫＫ様、日本アルミ様の場合は、竪枠の無目内側に先付けされた「ＮＢ用コーナーピース」を利用してサイドフタ・ベースを取り付けます。ベース全長は無目内寸法から３７mm（片側１８．５mm）マイナスした寸法で切断し出荷しますので、あらかじめご確認ください。



2.トステム様に組み込む場合はコーナーピースを使用しないで、竪枠内側に先付けされた「裏板」のＭ８タップを利用し、サイドフタ・ベースを取り付けます。ベース全長は無目内寸法から２０mm（片側１０mm）マイナスした寸法で切断し出荷しますのあらかじめご確認ください。



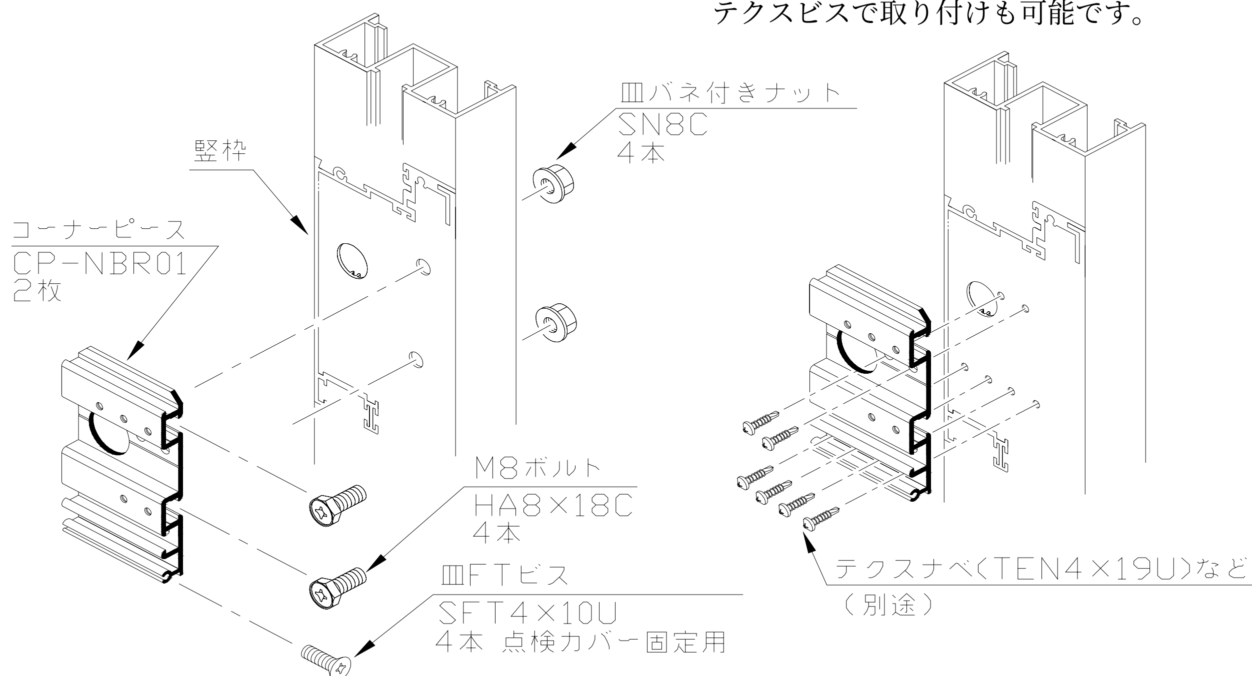
９．コーナーピースの取り付けとベースを組み込み

新日軽様、三協アルミ様、立山アルミ様、昭和フロント様、ＹＫＫ様、日本アルミ様

1. コーナーピースの取り付け

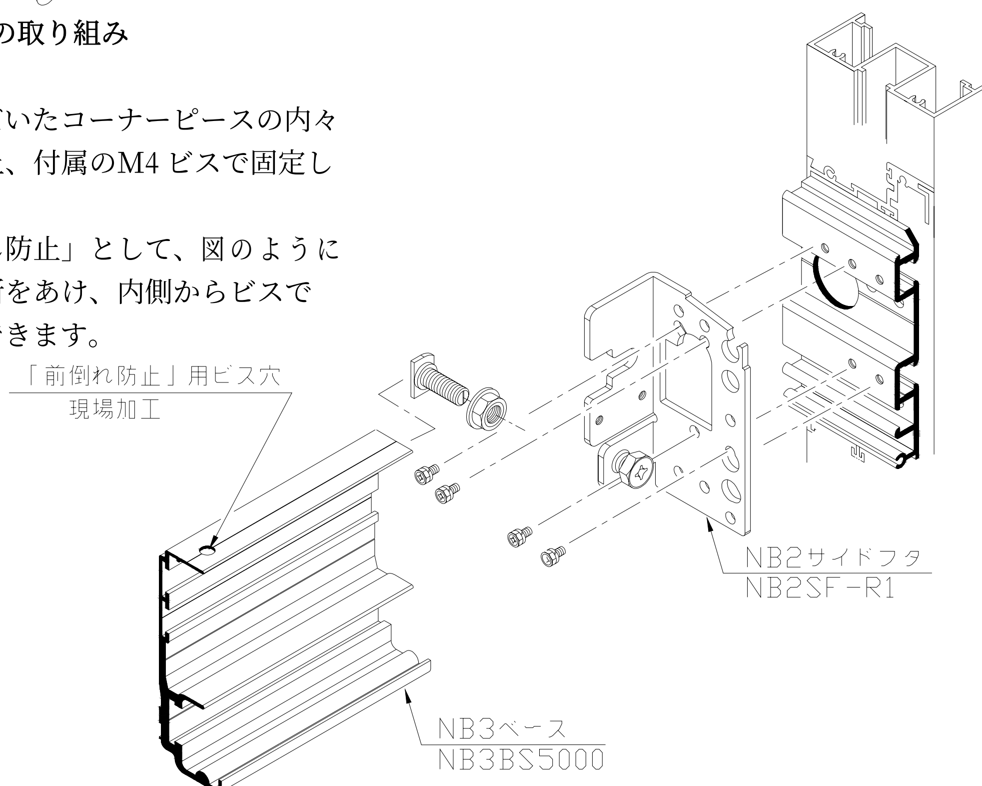
従来の内蔵式・ＢＢベース同様、NB3ベースコーナーピースをサッシ加工業者様に先渡しして取り付けをお願いしてください。

既設エンジンベースの入れ替えの場合は、既に取り付けられている金具を取り外して、弊社のNB2用コーナーピースを、付属のテクスビスで取り付けも可能です。



2.エンジンベースの取り組み

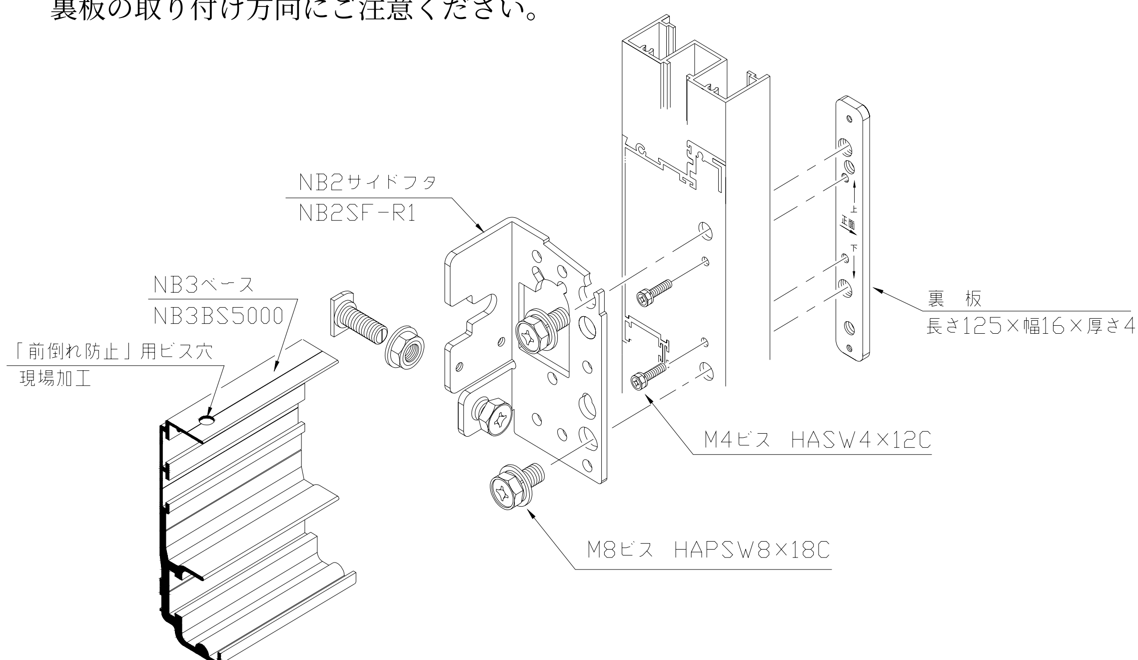
先付けしていただいたコーナーピースの内々寸法をご確認の上、付属のM4ビスで固定してください。
ベースの「前倒し防止」として、図のようにあらかじめ数ヶ所をあけ、内側からビスで固定することもできます。



１０．裏板の取り付けとベースの取り組み トステム様仕様

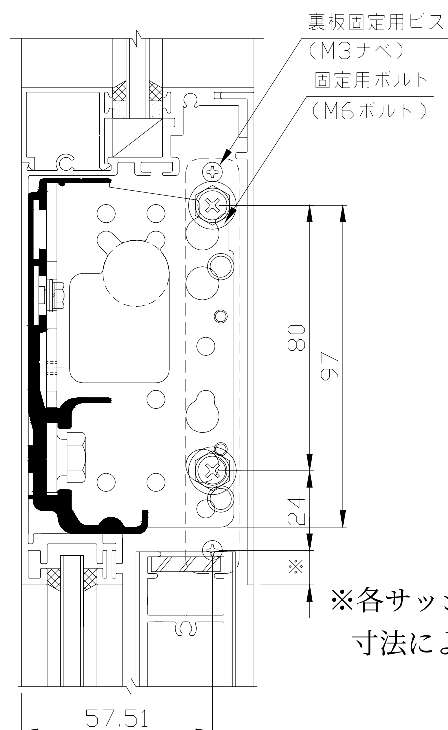
１．ＮＢ２専用の裏板をサッシ加工業者様に先渡しして竪枠の内側（ビスホール側）に取り付けをお願いしてください。
裏板の取り付け方向にご注意ください。

２.エンジンベースの取り組み
竪枠の内々寸法をご確認の上付のＭ８ボルトで固定してください。



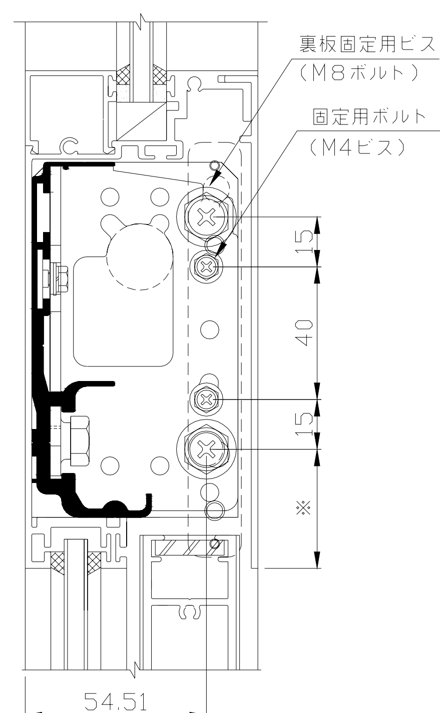
１．ＮＢ２ベースのサイドは、ナブコ様、寺岡様エンジン取り付け穴と共通性を持たせておりますので、古くなった機種との交換も可能です。

●ナブコ様既設エンジン用裏板への入れ替え例



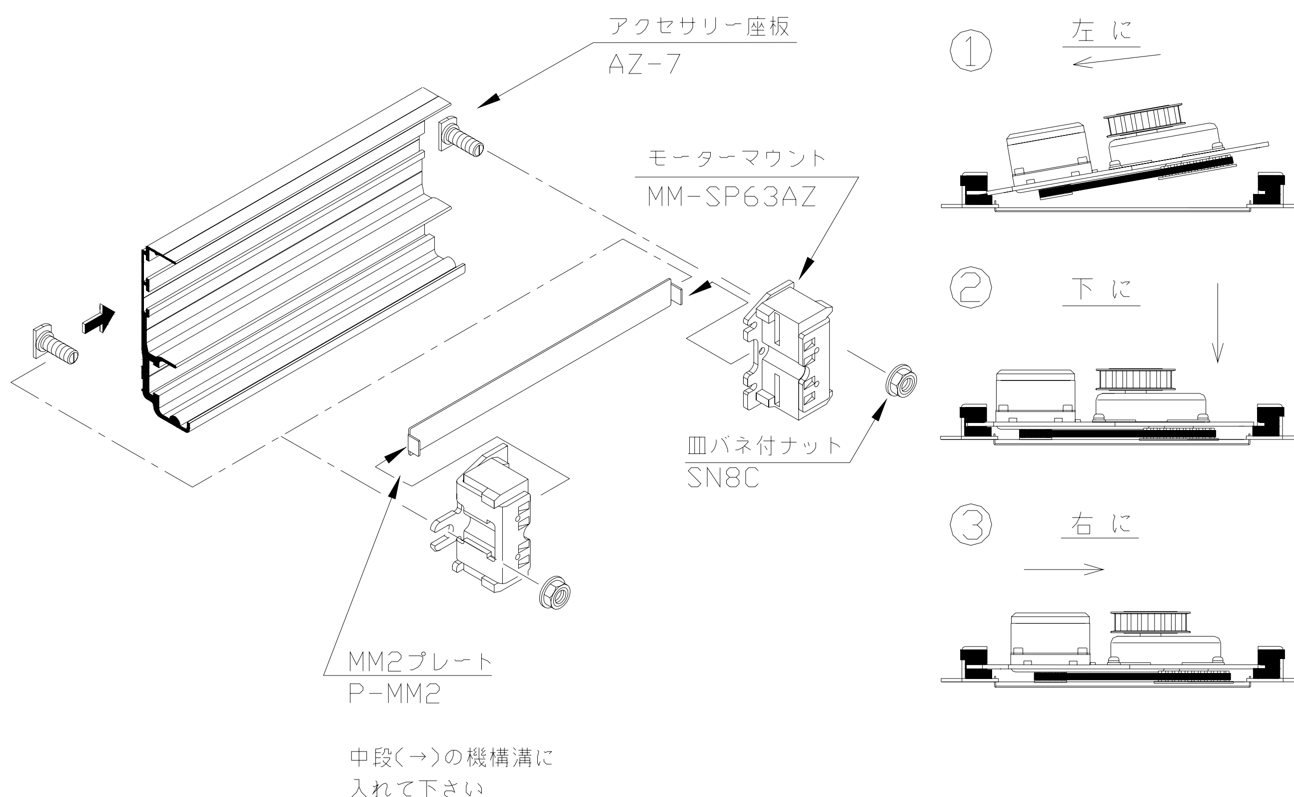
※各サッシメーカー様寸法による

●寺岡様既設エンジン用裏板への入れ替え例

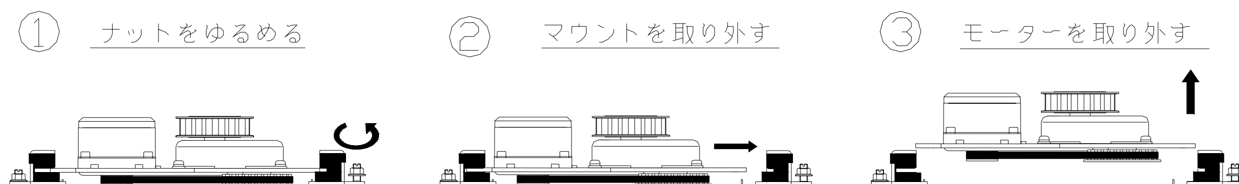


１１．モーターの取り付け

モーターの移動が必要になった場合は、ドア吊り元・連結金具の位置関係をご確認し、全開時（全閉時）に連結金具がモーター部に当たらない位置に取り付けしてください。
MM２プレートをはさんで外側にマウントをセットしてください。



立山アルミ様の場合、モーターの取外しの際に無目材の一部が干渉するため、右上図のような標準的な方法でのモーターの着脱ができませんので、片方のマウントを取り外た後モーターをスライドし取り外してください。モーター、マウントを取り付ける場合は逆の手順で行ってください。

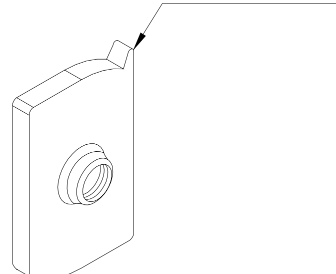


１２．コントロールボックスと
　　端子台ベースの取り付け

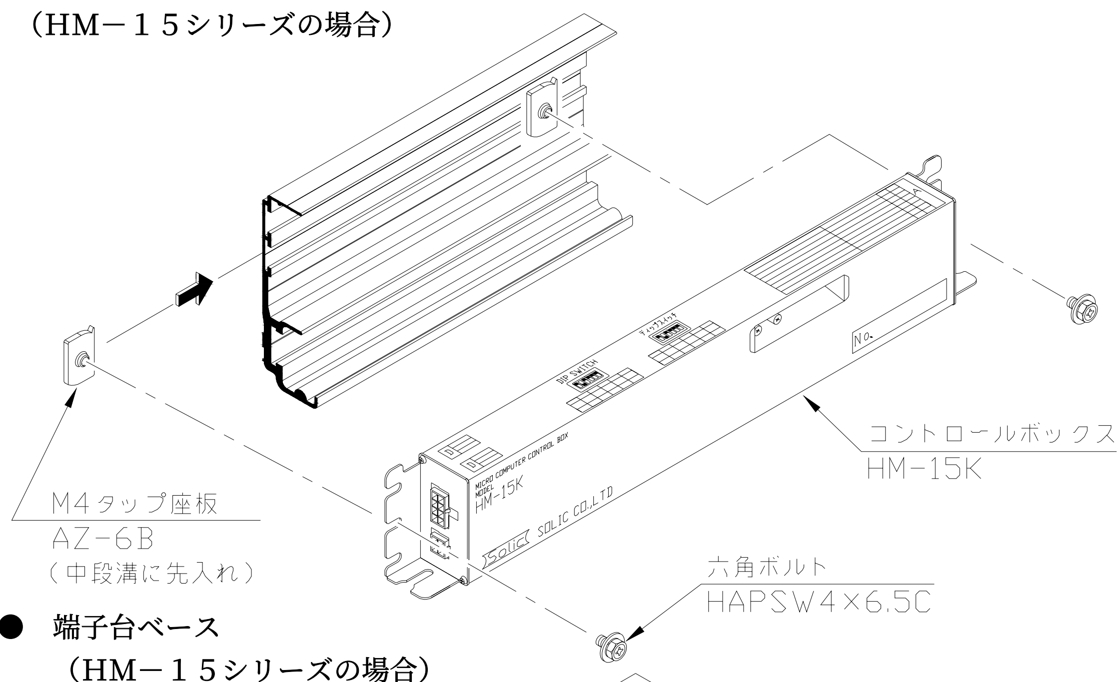
コントロールボックスと端子台ベースは、あらかじめベースの横から機構溝に入れられたアクセサリー座板・ＡＺ－６Ｂを利用して取り付けます。

後からオプション品を組み込みする場合アクセサリー座板の「ツバ」の部分をペンチで切断後、ベース正面から回し込むによる組み込みも可能になっています。

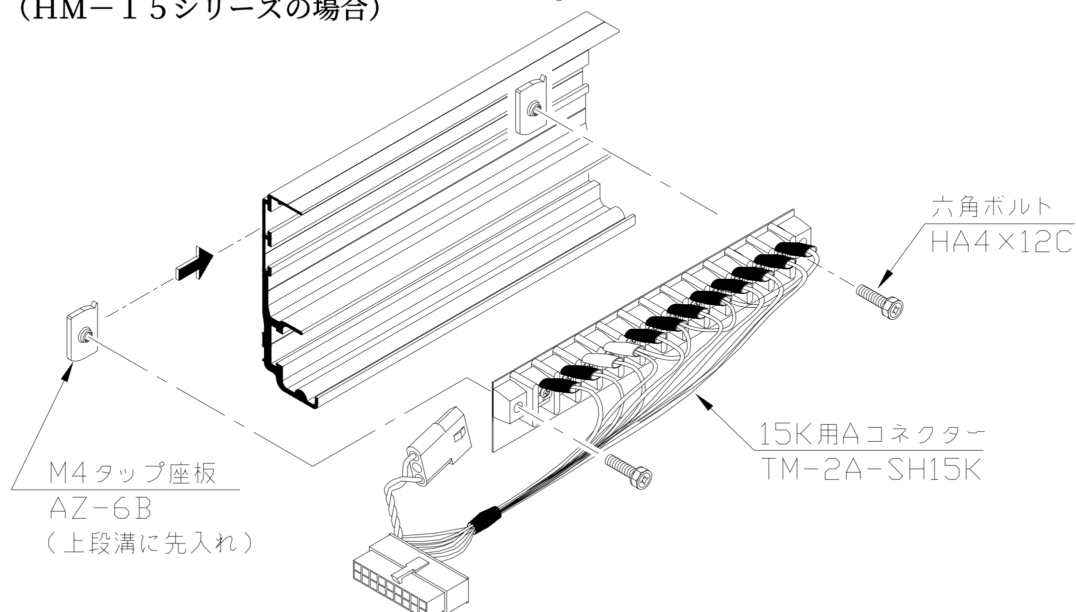
●Ｍ４タップ座板
　ＡＺ－６Ｂ



● コントロールボックス
（ＨＭ－１５シリーズの場合）

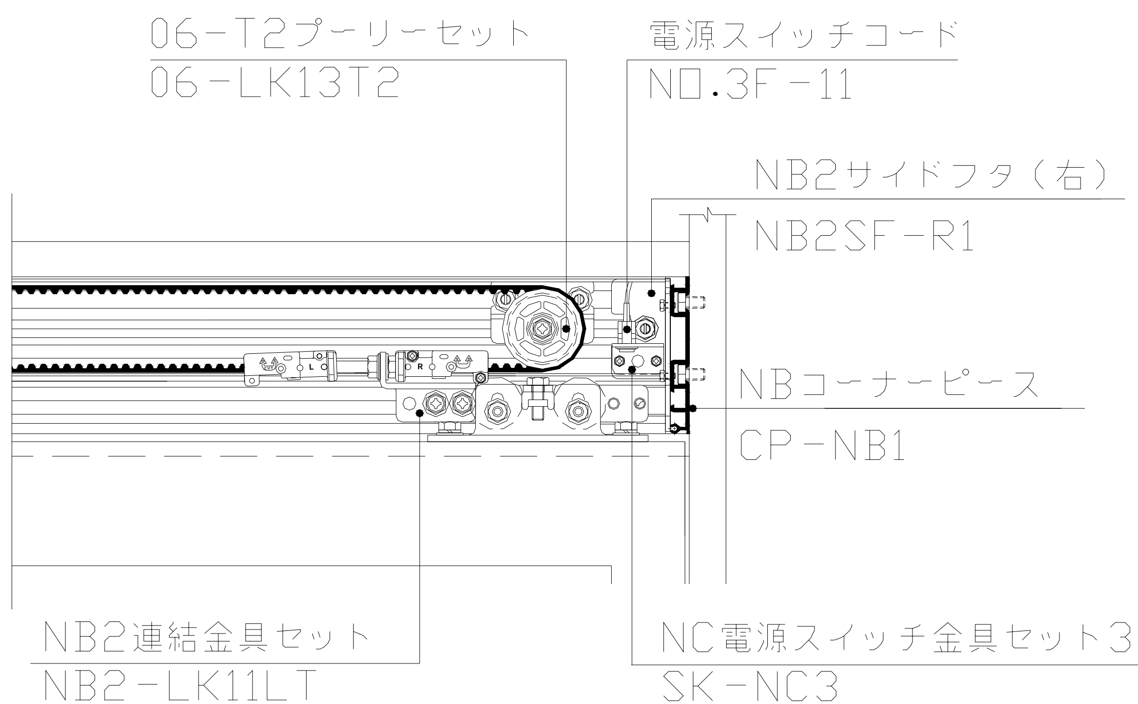


● 端子台ベース
（ＨＭ－１５シリーズの場合）

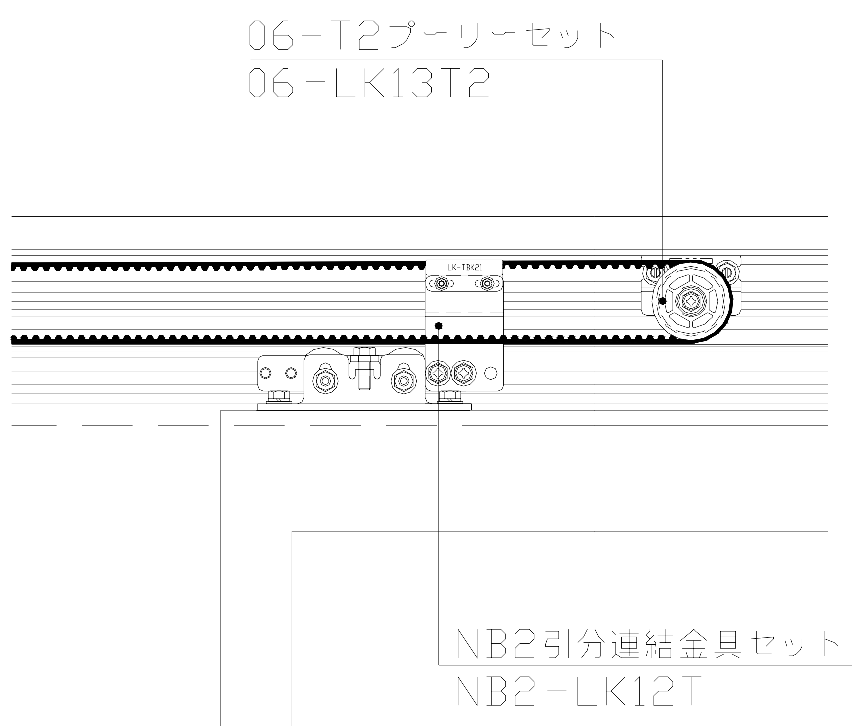


１３． 従動プーリーの取り付け

1.片引・左勝手の場合は右端に取り付けしてください。

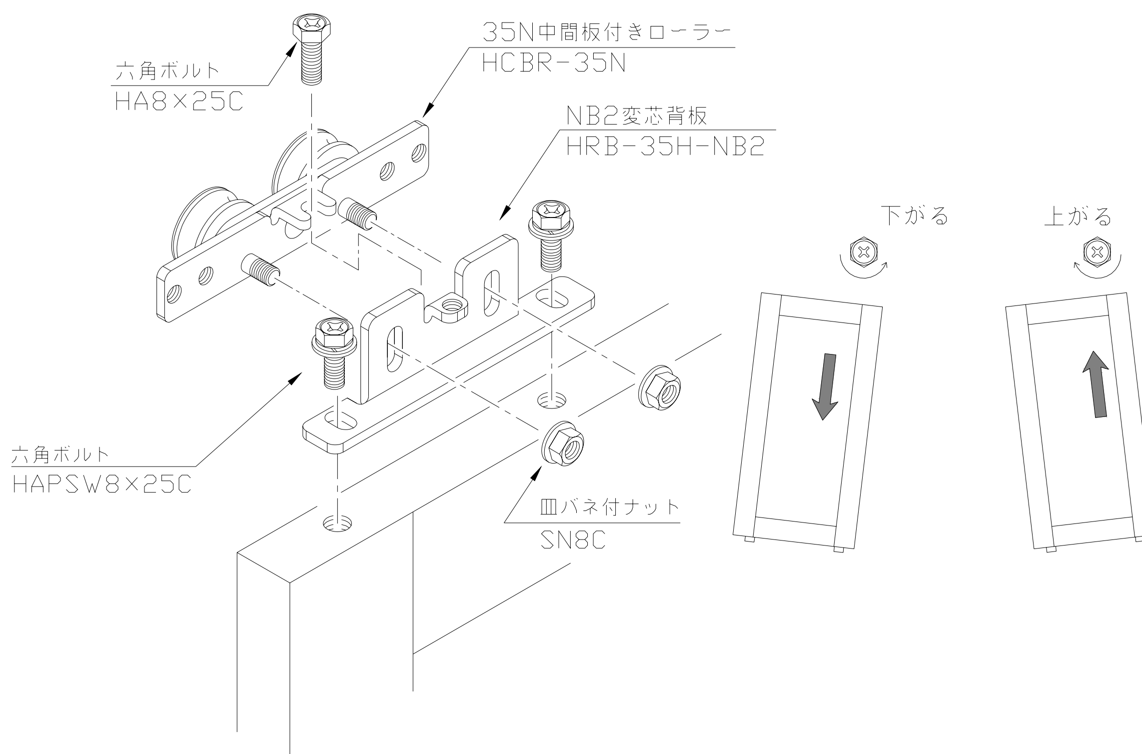


2.片引き・右勝手および引分の場合、ドア吊り元・連結金具の位置をご確認し、ドア全開時に連結金具がプーリーに当たらない位置に取り付けしてください。
本図は引分の例です。



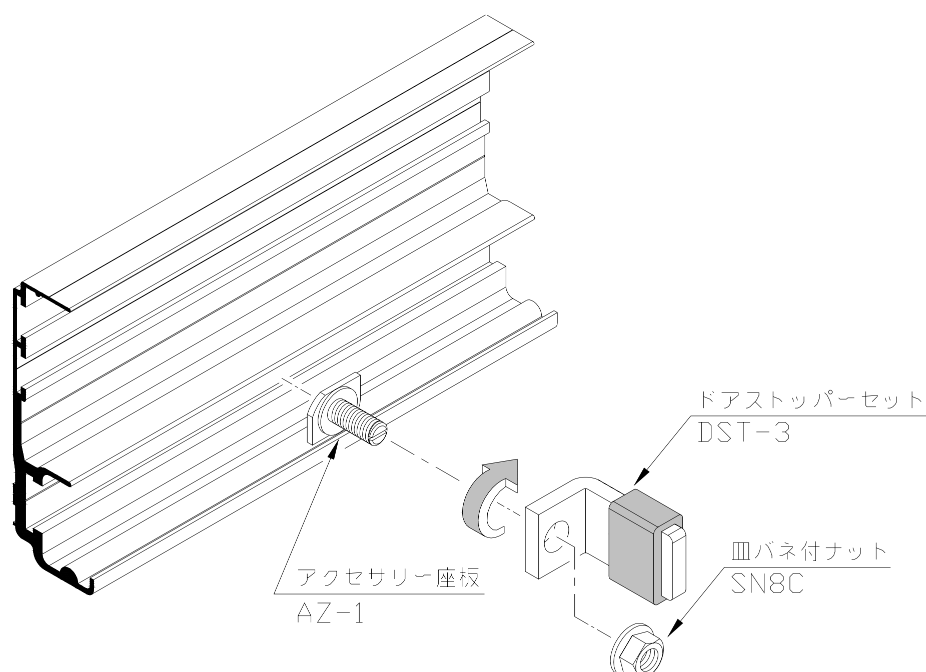
１４　ドアの吊り込みと建付け調整

ドア吊り込み用タップ（Ｍ８×１．２５）が寸法どおりに加工されているか確認してください。
勝手やドア幅にかかわらず、ドア端から１００mm芯・振り分け６０mm（タップピッチ１２０mm）が標準（強化ガラスドアの場合）です。
吊り込み前にベース・レールや、下部ガイドレールなどの清掃を行ってください。



１５．ドアストッパー取り付け

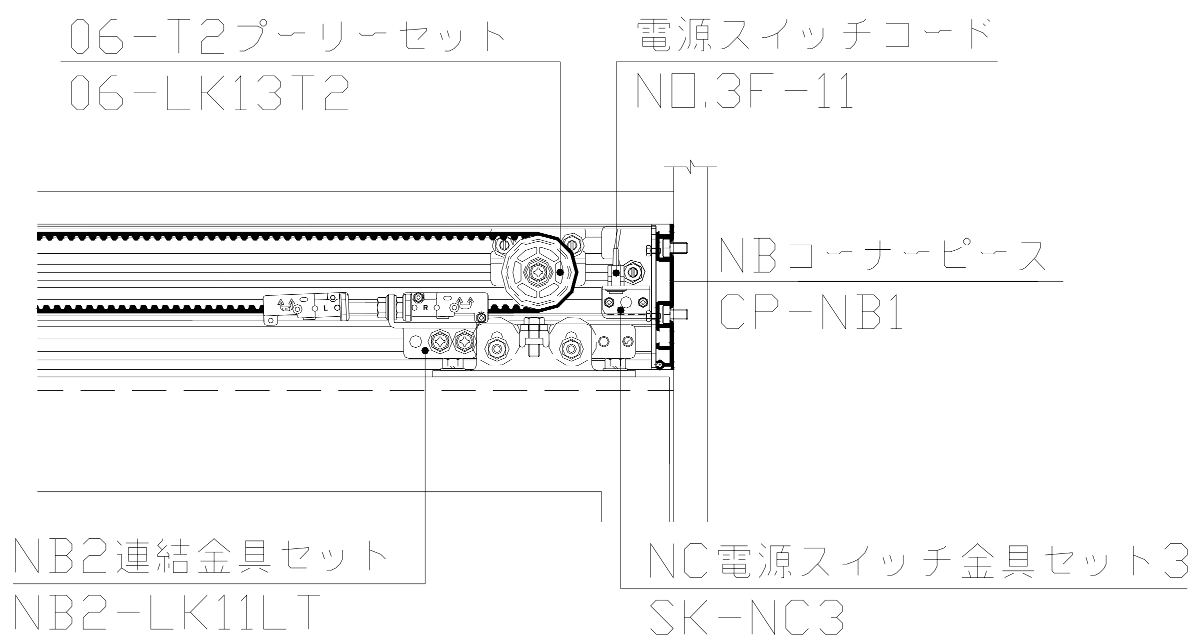
アクセサリー座板・ＡＺ－１を機構溝に回し込みＭ８ナットで固定します。



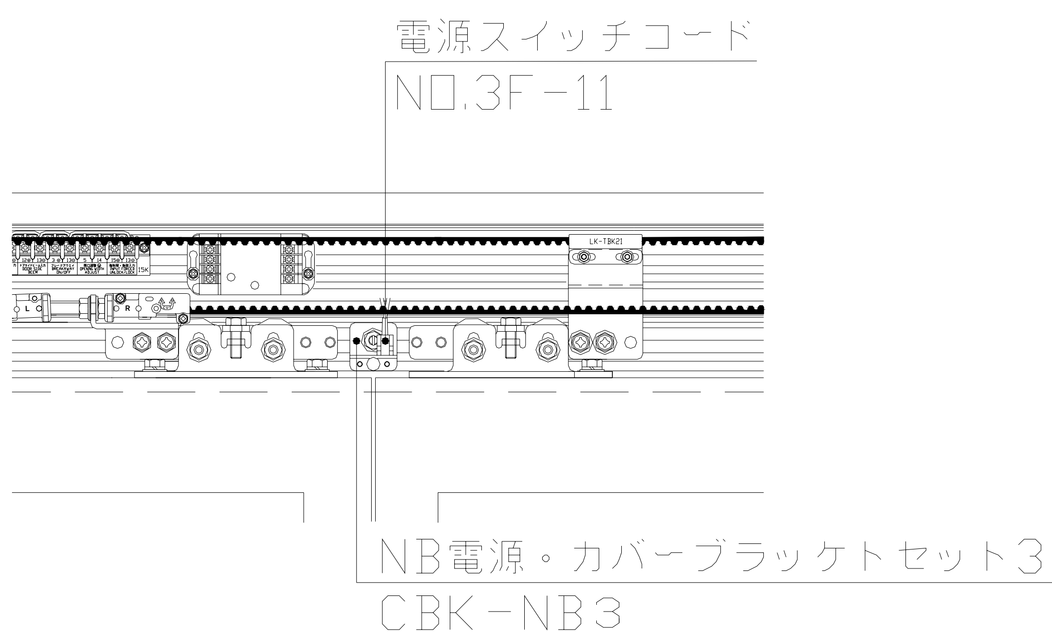
１６．電源スイッチ金具の取り付け

片引の場合はドアの戸当り側（全閉側）のサイドフタに、引分の場合はドアの召し合わせ（全閉位置・開口中心）のベース・レール部にそれぞれとり付けしてください。

●片　引

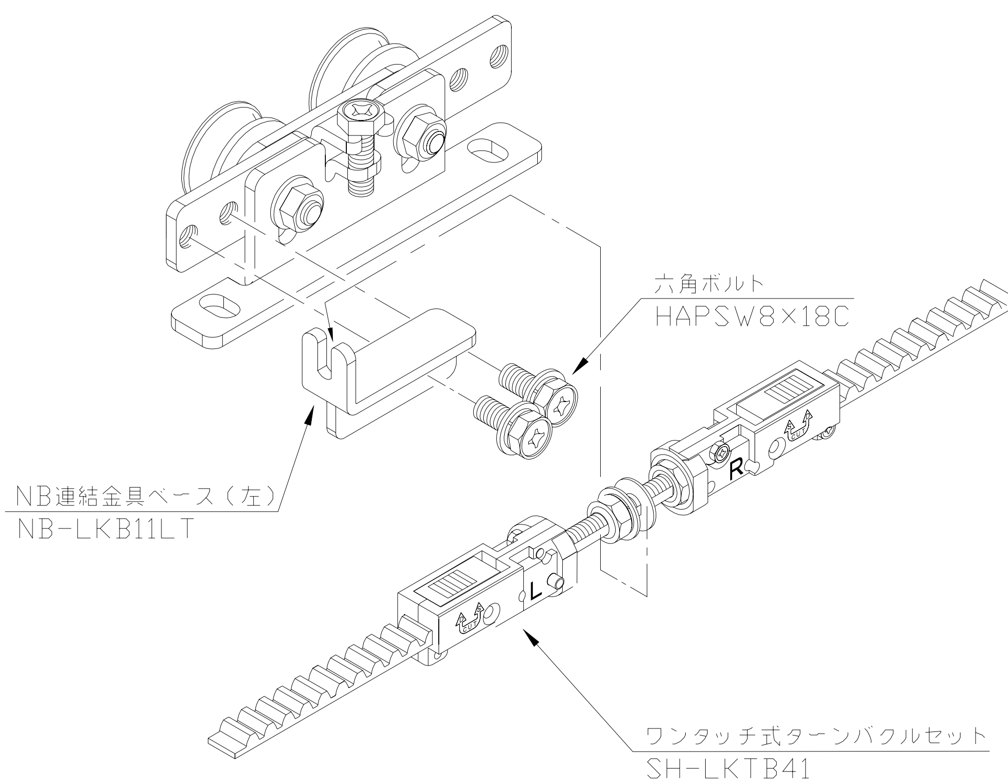


●引　分

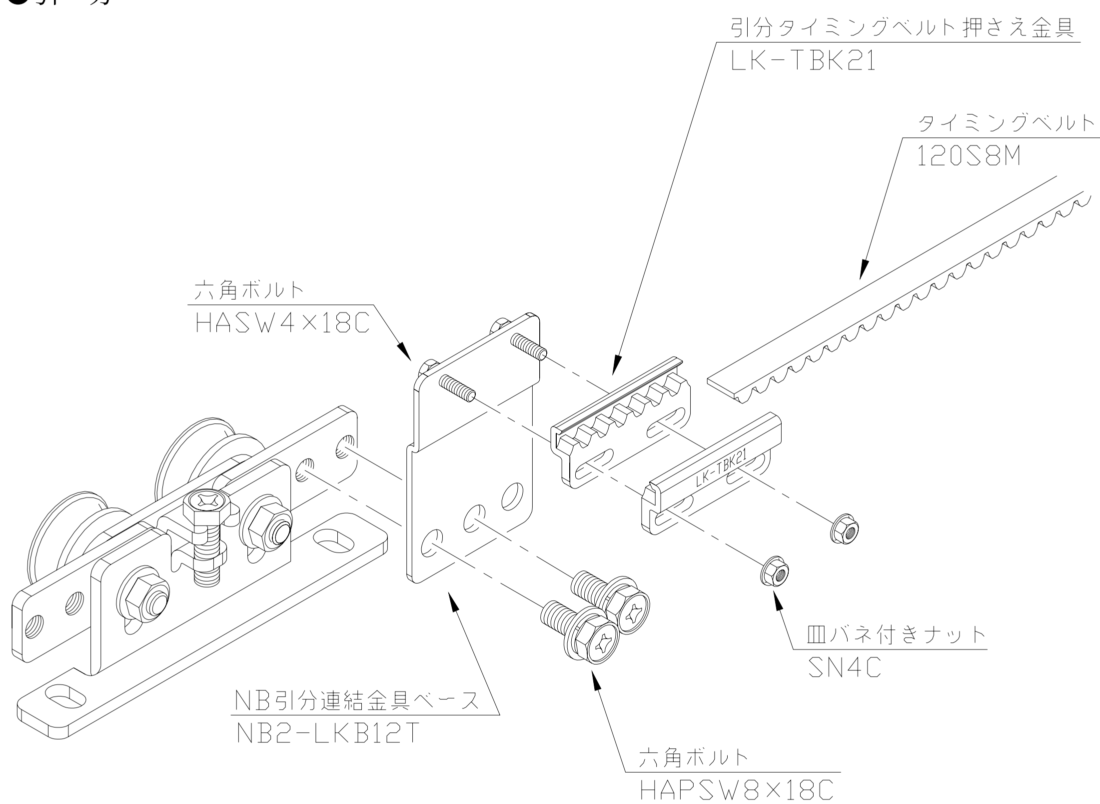


１７．連結金具の取り付け

●片　引

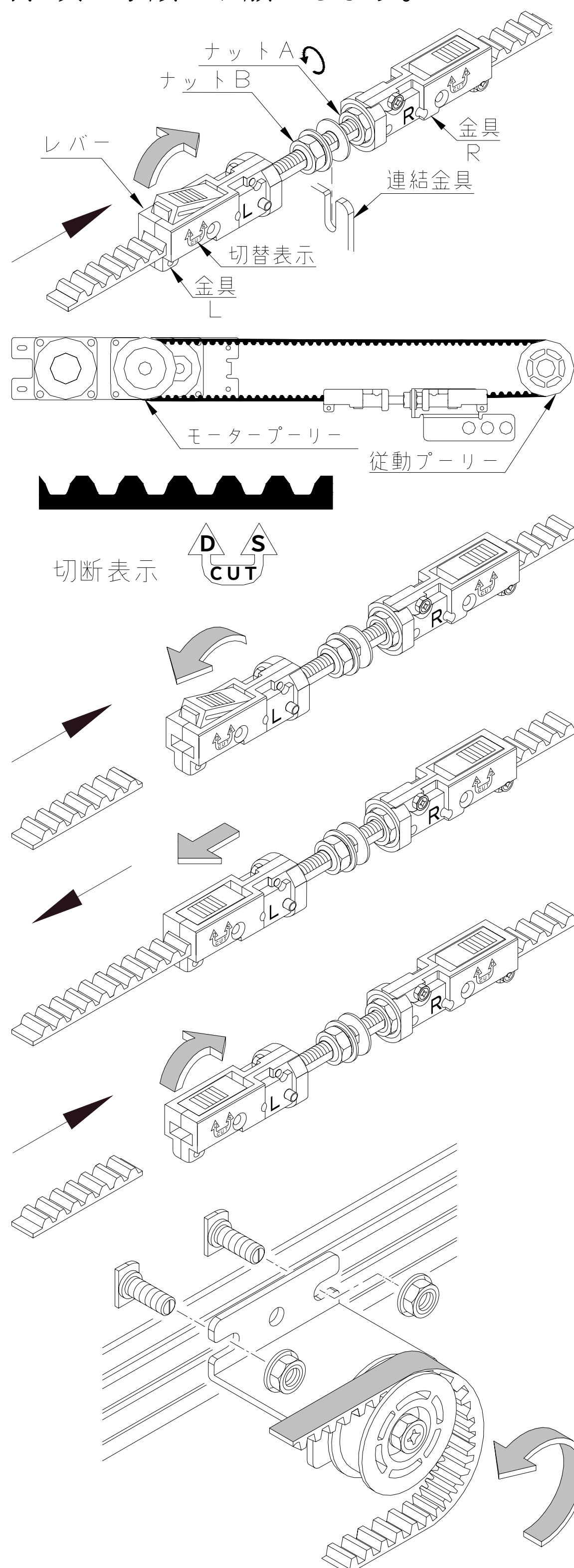


●引　分



１８．タイミングベルトの組み込みと張り調整

ベースの切り縮めなどでベルトの切断が生じた場合、次の手順でお願いします。



１.ベルトの取り外し

①ベルトをプーリーから外すか、ゆるめてください。

②ベルトを金具側に押すとレバーが自動的に上がり、引き抜くことができます。

２.ベルトの切断

①右図のようにベルトをモーター・従動プーリーにセットし必要な長さを決めます。

②金具側面表示に合わせ片引・Ｓ、引分・Ｄの位置でベルトの「谷部」を切断します。

３.ベルトの組み込み

①ベルトを金具に差し込むとレバーは自動的に下がります。
いずれか一方のプーリーからベルトを外し差し込むと、張力がないため簡単です。

②レバーを指で押さえながらベルトを引いてください。

③誤ってベルトを入れる前にレバーを下げた場合は、ベルトを差し込むと自動的に上がります。

④①で外したプーリーにベルトを回し込み、セットしてください。
<u>①～②の作業が終了後、各部が確実にセットされているか確認してください。</u>
<u>金具Ｌ、Ｒ共同じ機能を備えています。</u>

４.ベルトの張り調整

①ナットＡを矢印の方向に回すと張りが強くなります。

②張り終わりましたら連結金具の切り欠き部（Ｕ字部）にボルトを組み込みしナットＢを締めます。

１９．電源投入前のご注意

電源を投入する前の設定と確認をお願いします。

１．コントロールボックスの「開方向」のスライドスイッチ Ⓓ を設定してください。
電源がＯＮの状態でスイッチを切り替えた場合は、危険防止のために勝手は切り替わらないようになっております。
↓
一度電源をＯＦＦにして再度投入しなおしてください。

２．「開口調整」ボリューム Ⓦ 〈オプション〉を接続される場合は、右（時計方向）いっぱいに回してドアが全開になるようにしてください。

３．「ホールド」ボリューム Ⓗ を中間位置にしてください。

４．ドアストッパーが確実に固定されているかを確認してください。
固定が不完全な場合はドアの停止位置がずれて、正常な動作をしない可能性があります。
手動でドアを全開・全閉側のドアストッパー（戸当り）まで往復させ、ドアがスムーズに動くことを確認してください。

５．端子台に差し込まれたリード線が、所定の場所に完全に差し込まれているか確認ください。
また、裸のリード線が他の配線と接触していないか、ドア側の金具に引掛かり断線の恐れがないかなど配線処理も確認してください。

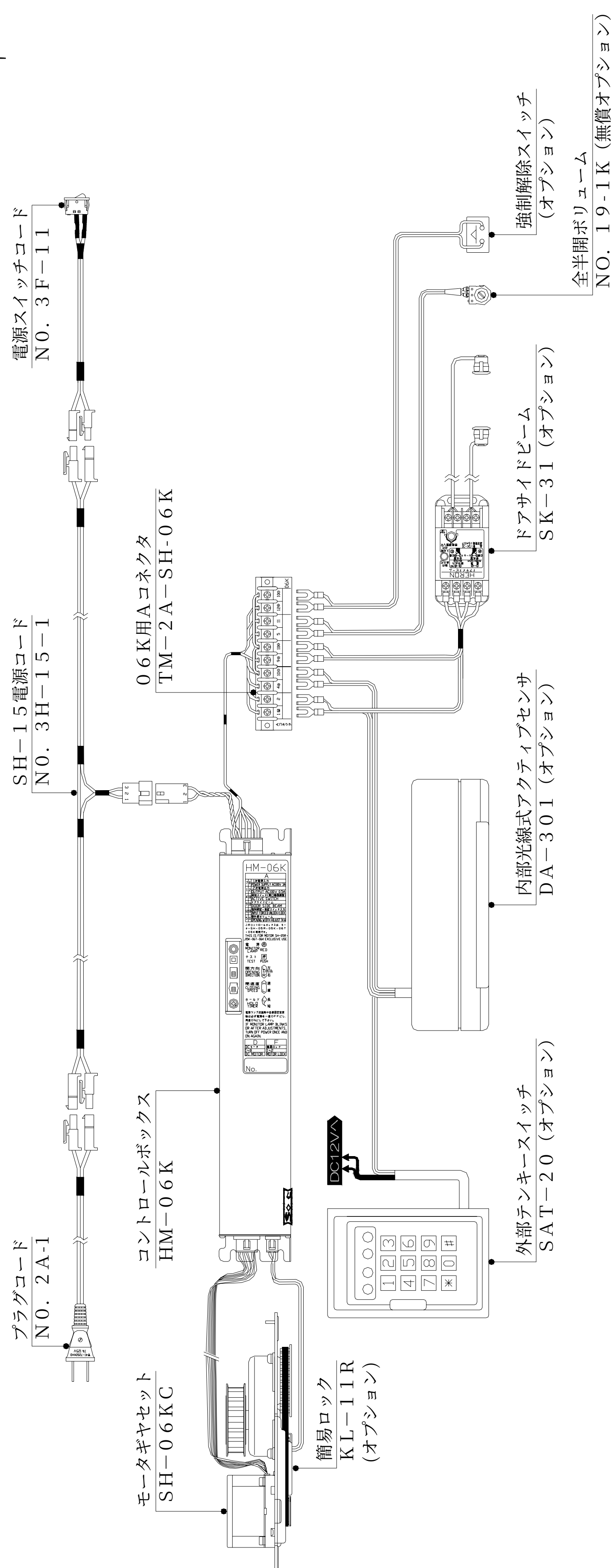
６．メカ部のビス・ボルト類のゆるみや、不具合がないか確認してください。

２０．配線図　-１

システム配線接続例

エンジン側の電源スイッチでは手が届かず操作しにくい場合がありますので、ＦＬから約１２００㎜の位置に１次側電源スイッチを設けていただく様、打合せ願います。

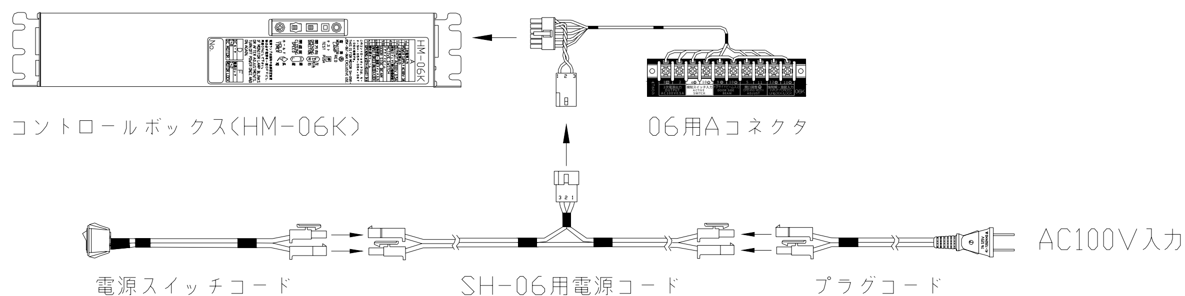
万が一、動作が不具合場合は外部結線の再確認や、ショート、断線がないかなど確認してください。



ＳH-０６シリーズ電源スイッチと電源コード接続例

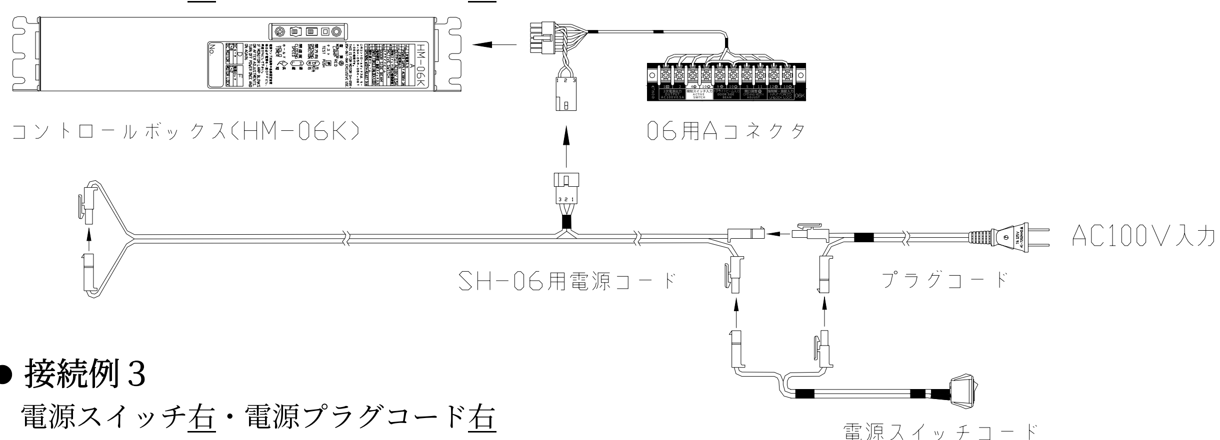
● 接続例１

電源スイッチ左・電源プラグコード右



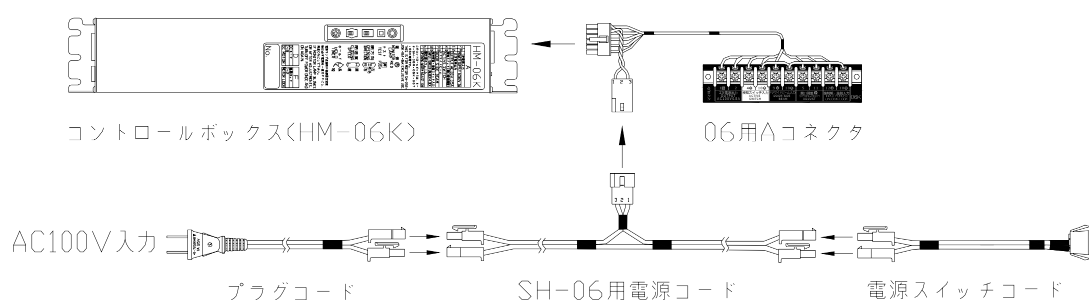
● 接続例２

電源スイッチ右・電源プラグコード左



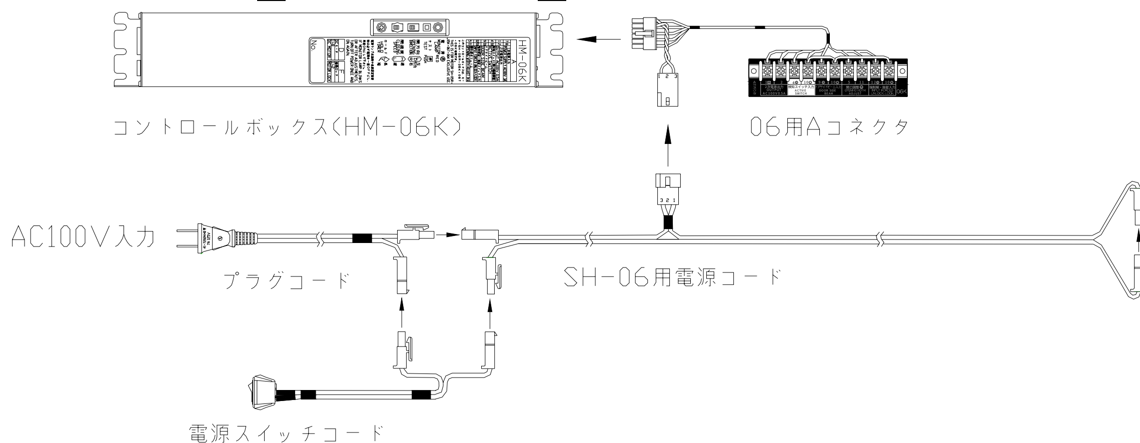
● 接続例３

電源スイッチ右・電源プラグコード右



● 接続例４

電源スイッチ左・電源プラグコード左



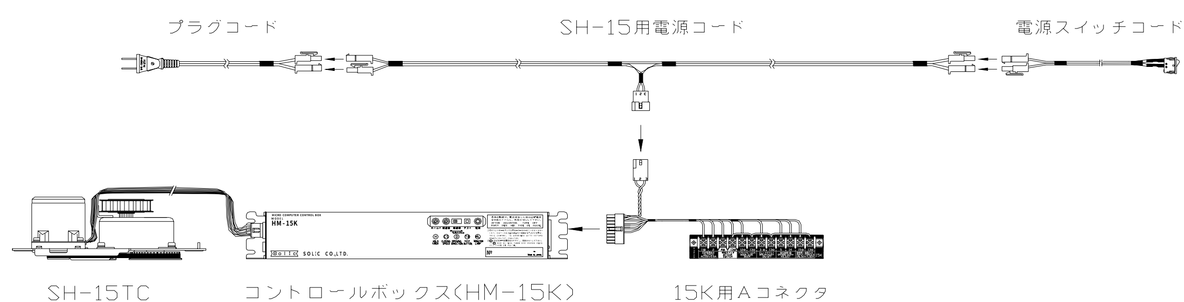
配線図　－２

１．ＳＨ－１５シリーズは１次電源ＡＣ１００Ｖや、検知スイッチ信号線などの外部配線は、Ａコネクタ専用端子台を経由しコントロールボックスに接続します。

２．各コネクタの形状が異なりますので、決められたコネクタ以外には接続できません。

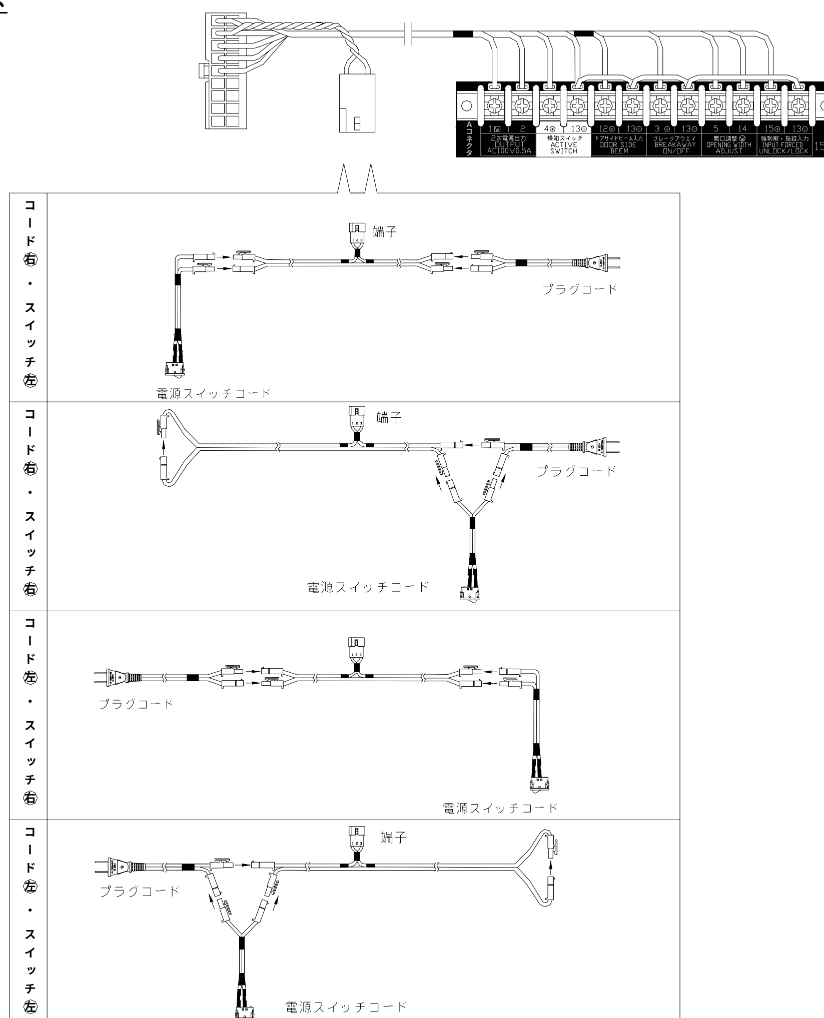
３．エンジン側の電源スイッチでは手が届かず操作しにくい場合がありますので、ＦＬから約１２００mmの位置に１次側電源スイッチを設けていただくようお願いします。

●標準配線図（バッテリがない場合）



●電源スイッチと電源コードの接続例

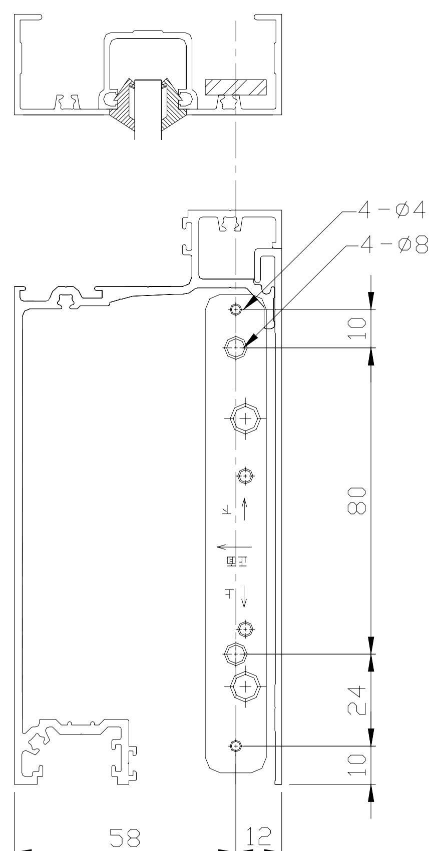
コンロールボックス
HM－１５K



２１．技術資料

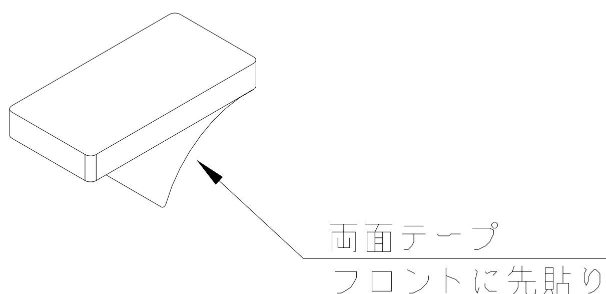
１．ベース取り付けのための「裏板」は、右図のような組み込みによりナブコ様のベースも組み込みが可能ですので、ご参考にしてください。
取り付け穴のピッチはナブコ様仕様の穴ピッチと同じです。
金具の刻印表示と方向にご注意してください。

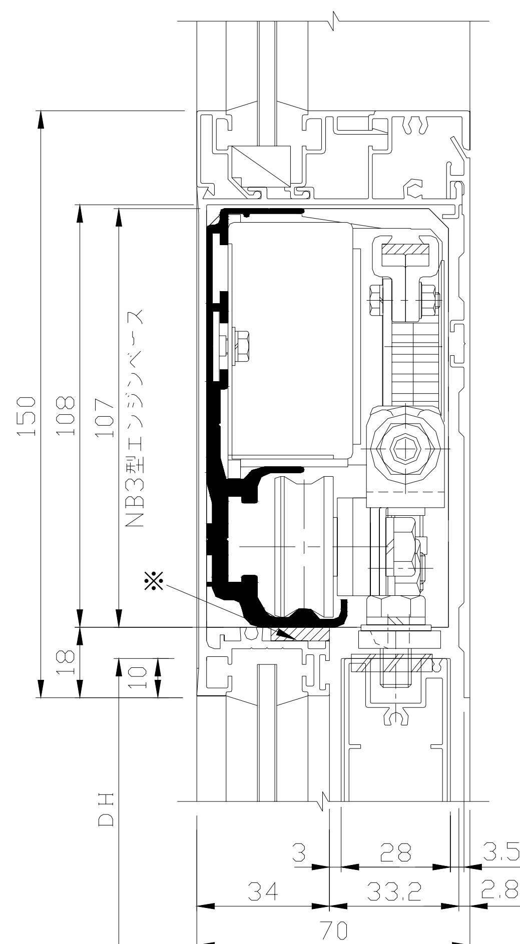
寺岡様のベース組み込みの場合は、ソリックの裏板取り付け方法と同じです。
（Ｐ１１、１６ご参照）右図はトステム様の納まり例です。



２．ＹＫＫ様無目の場合、片引、引分に関係なく竪枠から約５００mm間隔で、無目側に「ＮＢ３ベース受けスペーサー」を貼ってください。
ご注文の際にＹＫＫ様仕様ご指定していただければ、付属部品としてエンジンと一緒に出荷いたします。
(片引・６枚、引分・１２枚)

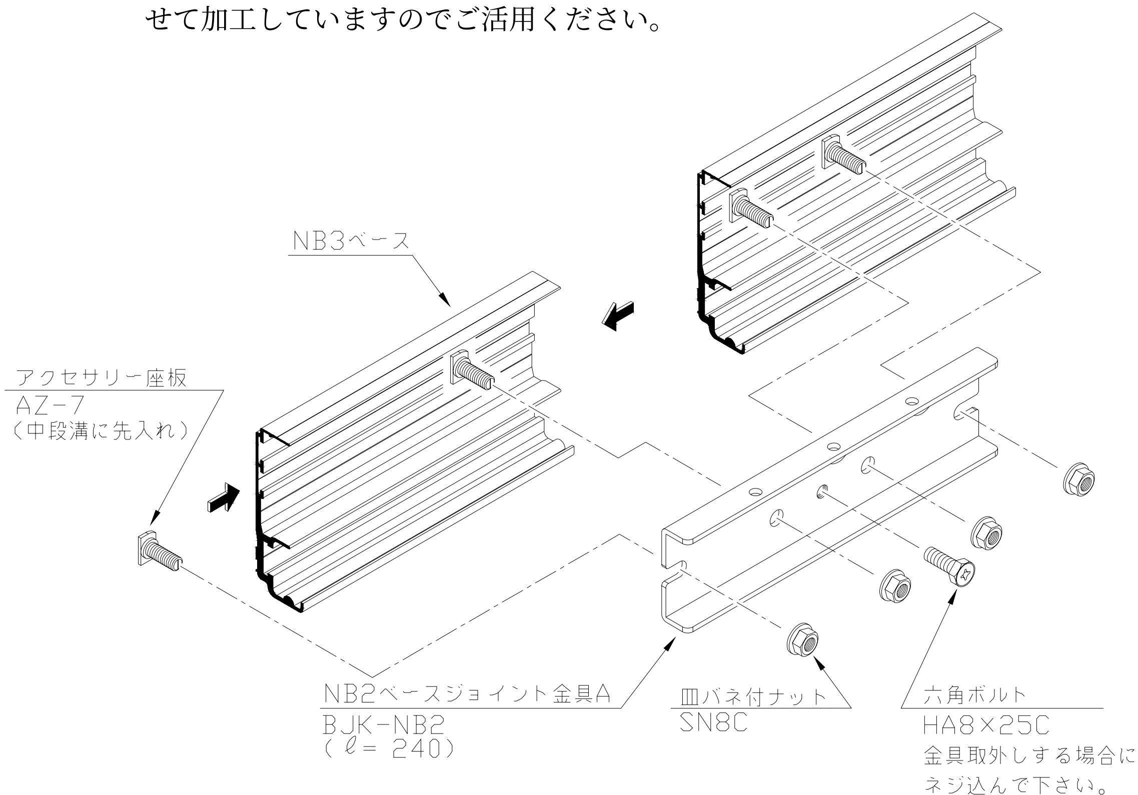
※：ＮＢ2ベーススペーサー

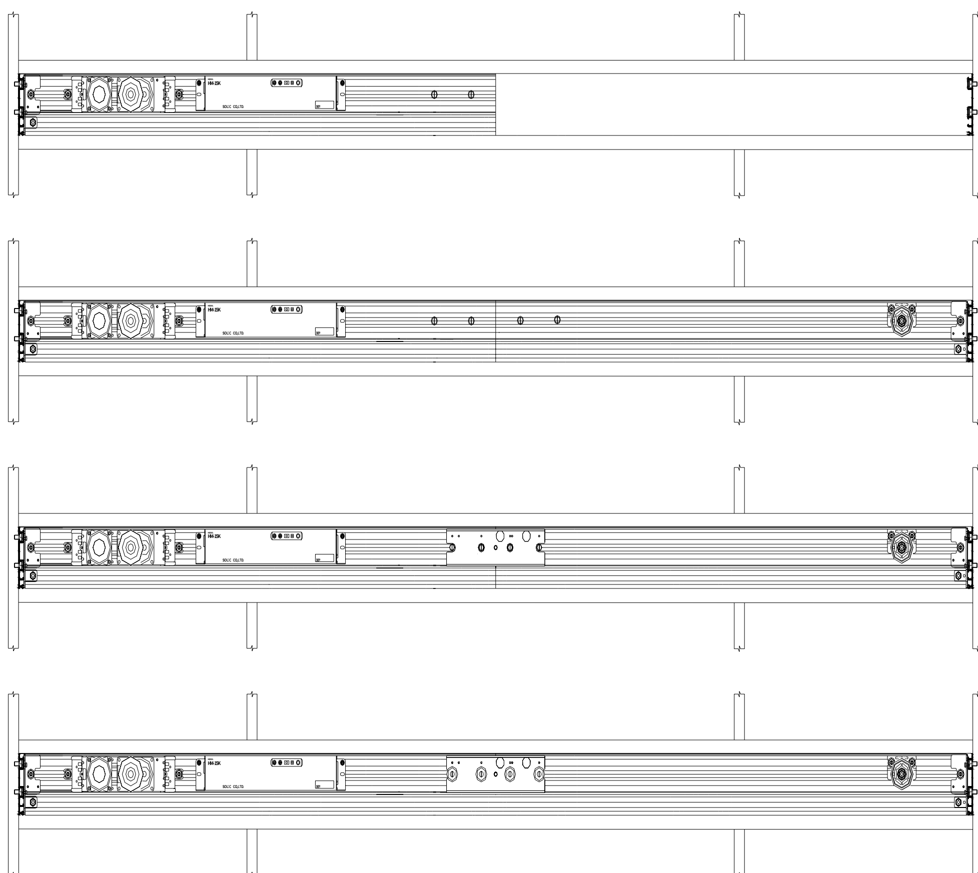




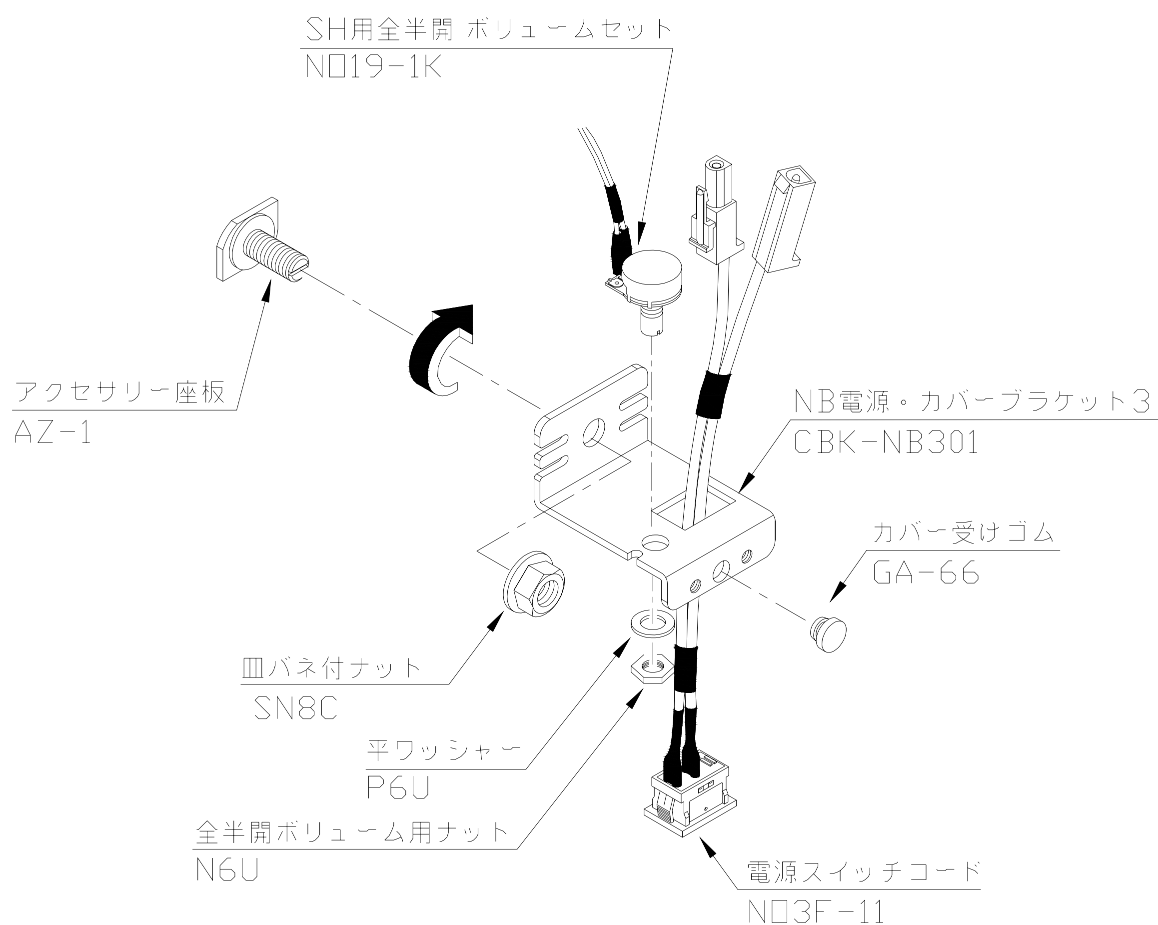
●ベースジョイント金具の取り付け

左右のベースをコーナーピースに組み込みした後、ジョイント金具とアクセサリー座板・ＡＺ－７（Ｍ８ボルトサイズ）を利用し、簡単に一本化できるようにしております。
また、主な無目付けタイプのセンサ取り付け穴・通線穴をそれぞれの取り付けピッチに合わせて加工していますのでご活用ください。





●ＳＨ用全半開ボリュームの取り付け<オプション>電源スイッチ金具の丸穴部分に組み込みします。
下の図は引分の例です。



２２．　ご使用上の注意事項　　お施主様にもご説明お願いします。

1．危険防止のため、各部調整の際にはドアが全閉または全開、停止中に行ってください。

2．ドア動作中に電源をＯＦＦにすると危険ですので、ドアが全閉または全開状態の時に行ってください。

3．ドアに鍵をかける場合は必ず電源をＯＦＦにしてください。

4．下部ガイドレールに小石やゴミが詰まっていますと、ドアの走行の障害となり故障の原因になりますので、適宜清掃をお願いしてください。

5．ＰＬ法（製造物責任法）の施行に伴い、不慮の事故が発生した場合には、重大な過失責任が問われる場合がありますので、ドアサイドビーム（補助センサ）を自動ドアに取り付けられることをお勧めいたします。
また、ドアの閉じ速度を遅めに設定されることをお勧めいたします。

6．日常のお手入れについて。　　電源スイッチをＯＦＦにしてから行ってください。

①センサ検出範囲内に物が置かれていませんか。
下部ガイドレールに異物がはさまっていませんか。
↓
電源スイッチをＯＦＦにして、取り除いてください。

②センサ、ドアサイドビーム（補助センサ）の表面は汚れていませんか。
自動ドアのステッカー、注意シールがよく見えますか。
マットスイッチの場合、マットの下に異物が入っていませんか。
↓
電源スイッチをＯＦＦにして清掃してください。
（シンナーなど溶解性のあるものでのお手入れは避けてください。）

③タッチスイッチの場合、乾電池の寿命は大丈夫ですか。
↓
電源スイッチをＯＦＦにして電池を交換してください。

④異常音や、異常な動作が発生していませんか。
装置の内部からか、あるいは建具との擦れ音ですか。
ドアが閉じ終わる前にいったん減速し、ゆっくりと閉じ終わりますか。
ドアが開き終わる前にいったん減速し、ゆっくりと開き終わりますか。
故障かな？と思ったら・・・
↓
施工業者にご連絡してください。